

(様式1)

令和 8 年度				
工 事 () 設 計 書				
(工 事 名) 令和8年災第2号市道早牛勝部線道路災害復旧工事 (2工区)				
(工事箇所) 鳥取市 青谷町八葉寺 地内				
所 長	所長補佐	合 議	精 査	設 計 者
令和 年 月 日				
鳥 取 市				

(様式2)

工 事 () 概 要

1.設 計 金 額 _____ 円 (内、消費税相当額 _____ 円)

2.工 期 _____ 令 和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 令 和 9 年 12 月 10 日 (_____ 日間)

3.工 事 概 要

災害復旧工事 復旧延長L=54.8m	
抑止杭工	
鋼管杭 φ 500mm×14.0t L=9.0～21.0m N=26本	
法面工	
鉄筋挿入工 D19 L=4.0m N=85本	
ワイヤーネット工 A=196m2	
仮設工 1式	

4. 変更請負額の算定

変更前請負額(税込) 変更工事価格
変 更 落 札 額 = _____ × _____ = _____
(千円未満切り捨て)
変更前設計額 (税込)
変更消費税額 = _____ × 10% = _____
変 更 請 負 額 = _____ + _____ = _____

鳥 取 市

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	51 鳥取市 設計書 当初 08-*****-11111-10 0 1 実施単価 08 鳥取市 青谷町 00-08.09.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 施工地域 契約保証区分 豪雪割増 工事価格端数処理 工期算定区分 週休二日補正係数	07 砂防，地すべり 13 一般交通影響有り(2) 01 金銭保証（0．04％） 01 豪雪割増あり 00 千円止め（土木） 02 算出しない 01 週休二日補正なし				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費									X1000	
斜面对策									Y1D03	(レバ Ⅱ1)
抑止杭工				一式					Y1D0308	(レバ Ⅱ2)
既製杭工				一式					Y1D030803	(レバ Ⅲ3)
既製鋼管杭				一式					Y1D03080301	(レバ Ⅳ4)
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.1	1			本					S1030027 00 A=3,C=500,D=1,E=12.2,F=0,G=0,H=8.3,I=0,J =0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0001 表	080910
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.2	1			本					S1030027 00 A=3,C=500,D=1,E=12.7,F=0,G=0,H=7.8,I=0,J =0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0003 表	080910
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.3,7	2			本					S1030027 00 A=3,C=500,D=1,E=13.1,F=0,G=0,H=7.9,I=0,J =0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0004 表	080910
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.4,5,6	3			本					S1030027 00 A=3,C=500,D=1,E=13.2,F=0,G=0,H=7.8,I=0,J =0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0005 表	080910

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.8	1		本						S1030027 00	
									A=3,C=500,D=1,E=12.9,F=0,G=0,H=8.1,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0006 表 080910	
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.9,11	2		本						S1030027 00	
									A=3,C=500,D=1,E=12.8,F=0,G=0,H=7.7,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0007 表 080910	
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.10	1		本						S1030027 00	
									A=3,C=500,D=1,E=12.9,F=0,G=0,H=7.6,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0008 表 080910	
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.12	1		本						S1030027 00	
									A=3,C=500,D=1,E=12.9,F=0,G=0,H=7.1,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0009 表 080910	
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.13	1		本						S1030027 00	
									A=3,C=500,D=1,E=12.6,F=0,G=0,H=6.9,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0010 表 080910	
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.14	1		本						S1030027 00	
									A=3,C=500,D=1,E=11.6,F=0,G=0,H=7.4,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0011 表 080910	
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.15	1		本						S1030027 00	
									A=3,C=500,D=1,E=12.3,F=0,G=0,H=5.2,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0012 表 080910	
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.16	1		本						S1030027 00	
									A=3,C=500,D=1,E=11.8,F=0,G=0,H=4.2,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0013 表 080910	
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.17	1		本						S1030027 00	
									A=3,C=500,D=1,E=11.2,F=0,G=0,H=3.3,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0014 表 080910	

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.18	1		本			S1030027 00 A=3,C=500,D=1,E=11.1,F=0,G=0,H=2.4,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0015 表 080910
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.19,20	2		本			S1030027 00 A=3,C=500,D=1,E=11.1,F=0,G=0,H=1.4,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0016 表 080910
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.21	1		本			S1030027 00 A=3,C=500,D=1,E=10.9,F=0,G=0,H=1.6,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0017 表 080910
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.22	1		本			S1030027 00 A=3,C=500,D=1,E=10.3,F=0,G=0,H=1.7,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0018 表 080910
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.23	1		本			S1030027 00 A=3,C=500,D=1,E=9.5,F=0,G=0,H=1.5,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0019 表 080910
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.24	1		本			S1030027 00 A=3,C=500,D=1,E=9.0,F=0,G=0,H=1.5,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0020 表 080910
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.25	1		本			S1030027 00 A=3,C=500,D=1,E=8.7,F=0,G=0,H=1.3,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0021 表 080910
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) コンクリート杭 (鋼管) 鋼管外径500mm No.26	1		本			S1030027 00 A=3,C=500,D=1,E=7.4,F=0,G=0,H=1.6,I=0,J=0,K=2,L=201,M=202,N=1,O=2,P=203 単第0 -0022 表 080910
<賃>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 70t吊 オペレータ付						KR006025 00
長期割引適用外	2		日			080910 D

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<賃>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50t吊 オペレータ付 排1~3,2011,2014 長期割引適用外					KTPC00017 00
	26	日			080910 D
<賃>クローラクレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊					KTPC00034 00
	202	日			080910 D
機-28_クローラクレーン運転(賃料) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊					S9000029 00 A=13,B=1,C=15,D=1
	26	日			単第0 -0023 表 080910
鋼管杭 SM570相当 φ500.0mm,t=14mm,L=4.0m 外径ほかエキストラ含む 0.1678t/m×4.0m=0.671t					V0301 00
	17	本			単第0 -0024 表 080910
鋼管杭 SM570相当 φ500.0mm,t=14mm,L=4.5m 外径ほかエキストラ含む 0.1678t/m×4.5m=0.755t					V0302 00
	15	本			単第0 -0025 表 080910
鋼管杭 SM570相当 φ500.0mm,t=14mm,L=5.0m 外径ほかエキストラ含む 0.1678t/m×5.0m=0.839t					V0303 00
	33	本			単第0 -0026 表 080910
鋼管杭 SM570相当 φ500.0mm,t=14mm,L=5.5m 外径ほかエキストラ含む 0.1678t/m×5.5m=0.922t					V0304 00
	12	本			単第0 -0027 表 080910
鋼管杭 SM570相当 φ500.0mm,t=14mm,L=6.0m 外径ほかエキストラ含む 0.1678t/m×6.0m=1.006t					V0305 00
	12	本			単第0 -0028 表 080910
ネジ継手 鋼管杭継手エキストラ 継手ねじ加工費 見積					F0106 00
	63	箇所			080910

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
やぐら設置・撤去工 ラフテレーンクレーン使用の場合					V0002 00
	1	基・回			単第0 -0029 表 080910
吊金具 取付費含む					F0001 00
	252	k g			080910
杭吊り穴加工費 φ 50mm 見積					F0003 00
	52	箇所			080910
モルタル注入孔加工費 φ 60mm 見積					F00031 00
	52	箇所			080910
汚泥処理工					Y3999 (レ^\ル3)
		一式			
汚泥運搬工					Y4999 (レ^\ル4)
		一式			
側溝清掃車運搬 運搬距離_22.0km超え31.0km以下					S1030031 00 A=4
	156	m3			単第0 -0030 表 080910
投棄料					#0041 C=投棄料
		一式			
産業廃棄物処分処分費 汚泥 鳥取市湖山町東地内					TT0005 00
	171	t			080910

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
足場工						Y3999 (レハ ⁺ Ⅱ3)
			一式			
足場工 システム足場相当						V0309 00
	653		空m 3			単第0 -0032 表 080910
足場材（賃料） 杭No.1～杭No.26						F5000 00
	1		一式			080910
足場材（賃料） 杭No.14～杭No.26						F5001 00
	1		一式			080910
足場材（基本料） 杭No.1～杭No.26						F5003 00
	1		一式			080910
法面工						Y1D0303 (レハ ⁺ Ⅱ2)
			一式			
地山補強土工						Y3999 (レハ ⁺ Ⅱ3)
			一式			
鉄筋挿入工						Y4999 (レハ ⁺ Ⅱ4)
			一式			
鉄筋挿入工 現場条件Ⅱ [規]200m以上						SS000259 00 A=2,B=1,D=4.0,E=65,F=3.9,G=3,I=3,K=3,M=6 O=3,Q=3,S=1,V=1,X=1,Y=1
	85		本			単第0 -0033 表 080910

08-*****-11111-10

鳥 取 県

本工事費 内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
削孔機械の上下移動					SS000261 00
	5	回			単第0 -0035 表 080910
仮設足場の設置・撤去					SS000263 00
	567	空m3			単第0 -0036 表 080910
金網設置工					Y4999 (レベル4)
ラス張工 [規]100m2以上250m2未満					SS000187 00 A=4, C=2
	196	m2			単第0 -0037 表 080910
ネット工					Y4999 (レベル4)
ケーブル設置工					V0202 00
	196	m ²			単第0 -0038 表 080910
ケーブル φ10 7×7 AZ/0 溶融亜鉛アルミニウム合金めっき 見積					F0208 00
	893.9	m			080910
プレート取付工					V0204 00
	85	箇所			単第0 -0039 表 080910
プレート構成 ネット補強材					V0201 00
	85	組			単第0 -0040 表 080910

本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
クロスクリップ設置工					V0203 00
	777	箇所			単第0 -0041 表 080910
ケーブル端末キャップ アルミニウム合金押出型材					F0211 00
見積	154	個			080910
構造物撤去工					Y2999 (レ`ル2)
		一式			
大型土のう撤去工					Y3999 (レ`ル3)
		一式			
大型土のう撤去 設置作業半径_6m以下 設置面高さ_-3m H 2m					S1050057 00 A=1,B=1
	29	袋			単第0 -0042 表 080910
残土運搬					V0312 00
	24	m 3			単第0 -0044 表 080910
廃プラスチック運搬					V0313 00
	0.1	t			単第0 -0047 表 080910
投棄料					#0041 C=投棄料
		一式			
廃プラスチック処分費					TT0006 00
鳥取市上原地内	0.2	m 3			080910

本工事費 内訳書

頁0-0010

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設工						Y1D0310 (レ^\ Ⅱ2)
			一式			
仮設工						Y1A011521 (レ^\ Ⅲ3)
			一式			
工事用道路						Y1A01150101 (レ^\ Ⅳ4)
			m3			
足場工 システム足場相当						V0309 00
		262	空m 3			単第0 -0032 表 080910
足場材（賃料） 引き込み足場						F5002 00
	見積	1	一式			080910
足場材（基本料） 引き込み足場						F5004 00
	見積	1	一式			080910
敷鉄板設置						S1050041 00
		153	m2			単第0 -0050 表 080910
敷鉄板撤去						S1050043 00
		153	m2			単第0 -0052 表 080910
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間317日						S1050029 00 A=3,B=1,C=317,D=2
		34	枚			単第0 -0053 表 080910

本工事費 内訳書

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
交通管理工									Y1A01152101 (レール4)	
				人						
交通誘導警備員 B									R0369 00	
	15			人						080910 1
* * 直接工事費 * *										
運搬費									Z0004	
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 186km 製品長 12m以内									S1000007 00 A=186,B=1,C=1,D=1,E=94,F=1,H=1,J=1,L=1	
	1			一式					単第0 -0054 表	080910
共通仮設費										
* * 共通仮設費計 * *										
* * 純工事費 * *										
現場管理費										

本工事費 内訳書

頁0-0012

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事原価							
一般管理費率分							
契約保証費							
一般管理費計							
工事価格							
消費税相当額							
工事費計							

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.1

単第0 -0001 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	6.150	人			RTPC00009 6.15*1 69
特殊作業員	12.300	人			RTPC00001 6.15*2 69
普通作業員	12.300	人			RTPC00002 6.15*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.930	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	4.106	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	6.150	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=12.2 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=8.3 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

1 本 当り

[illegible]

施 工 単 価 表

機-25_大口径ボーリングマシン運転
大口径 30kW級

S9000059

単第0 -0002 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ボーリングマシン 大口径 30kW級	1.34	供用日			M1409
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 大口径 30kW級			B=1.34	機械損料数量(供用日/日)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.2

単第0 -0003 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	6.060	人			RTPC00009 6.06*1 69
特殊作業員	12.120	人			RTPC00001 6.06*2 69
普通作業員	12.120	人			RTPC00002 6.06*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.930	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	4.106	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	6.060	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=12.7 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=7.8 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

単第0 -0003 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 12.70+0.00+0.00+7.80+0.00 = 20.50 (m / 本) 削孔日数 T1 = 12.700*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+7.800*0.34+0.000*0.44 = 4.56 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.50 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 4.56+1.50+(0.00*1.00) = 6.0600 (日 / 本)					
圧入使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*20.500*(1+0.1) = 0.929812465(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*20.500*(1+0.02)=4.105665431(m3/本) ピット等損耗費率 P = (25*0.000+80*12.700+80*7.800+80*0.000+150*0.000)/20.500 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.3,7

単第0 -0004 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	6.150	人			RTPC00009 6.15*1 69
特殊作業員	12.300	人			RTPC00001 6.15*2 69
普通作業員	12.300	人			RTPC00002 6.15*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.952	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	4.206	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	6.150	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=13.1 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=7.9 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭(鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.3,7

単第0 -0004 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 13.10+0.00+0.00+7.90+0.00 = 21.00 (m / 本) 削孔日数 T1 = 13.100*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+7.900*0.34+0.000*0.44 = 4.65 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.50 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 4.65+1.50+(0.00*1.00) = 6.1500 (日 / 本)					
圧入使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*21.000*(1+0.1) = 0.952490818(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*21.000*(1+0.02)=4.205803612(m3/本) ピット等損耗費率 P = (25*0.000+80*13.100+80*7.900+80*0.000+150*0.000)/21.000 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.4,5,6

単第0 -0005 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	6.130	人			RTPC00009 6.13*1 69
特殊作業員	12.260	人			RTPC00001 6.13*2 69
普通作業員	12.260	人			RTPC00002 6.13*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.952	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	4.206	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	6.130	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=13.2 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=7.8 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭(鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.4,5,6

単第0 -0005 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 13.20+0.00+0.00+7.80+0.00 = 21.00 (m / 本) 削孔日数 T1 = 13.200*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+7.800*0.34+0.000*0.44 = 4.63 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.50 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 4.63+1.50+(0.00*1.00) = 6.1300 (日 / 本)					
鋼管使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*21.000*(1+0.1) = 0.952490818(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*21.000*(1+0.02)=4.205803612(m3/本) ビット等損耗費率 P = (25*0.000+80*13.200+80*7.800+80*0.000+150*0.000)/21.000 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.8

単第0 -0006 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	6.190	人			RTPC00009 6.19*1 69
特殊作業員	12.380	人			RTPC00001 6.19*2 69
普通作業員	12.380	人			RTPC00002 6.19*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.952	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	4.206	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	6.190	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=12.9 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=8.1 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

S1030027

單第0 -0006 表

1 本 当り

鋼管外径500mm

No. 8

[illegible]

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.9,11

単第0 -0007 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	6.040	人			RTPC00009 6.04*1 69
特殊作業員	12.080	人			RTPC00001 6.04*2 69
普通作業員	12.080	人			RTPC00002 6.04*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.930	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	4.106	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	6.040	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=12.8 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=7.7 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭(鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.9,11

単第0 -0007 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 12.80+0.00+0.00+7.70+0.00 = 20.50 (m / 本) 削孔日数 T1 = 12.800*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+7.700*0.34+0.000*0.44 = 4.54 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.50 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 4.54+1.50+(0.00*1.00) = 6.0400 (日 / 本)					
材料使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*20.500*(1+0.1) = 0.929812465(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*20.500*(1+0.02)=4.105665431(m3/本) ビット等損耗費率 P = (25*0.000+80*12.800+80*7.700+80*0.000+150*0.000)/20.500 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.10

単第0 -0008 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	6.020	人			RTPC00009 6.02*1 69
特殊作業員	12.040	人			RTPC00001 6.02*2 69
普通作業員	12.040	人			RTPC00002 6.02*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.930	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	4.106	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	6.020	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=12.9 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=7.6 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭(鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.10

単第0 -0008 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 12.90+0.00+0.00+7.60+0.00 = 20.50 (m / 本) 削孔日数 T1 = 12.900*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+7.600*0.34+0.000*0.44 = 4.52 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.50 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 4.52+1.50+(0.00*1.00) = 6.0200 (日 / 本)					
丸外使用量 $Q = \pi / 4 * (D1 * D1 - D * D) * L * (1 + K2) = 3.14159 / 4 * (0.550 * 0.550 - 0.500 * 0.500) * 20.500 * (1 + 0.1) = 0.929812465$ (m3/本) 生コンクリート使用量 $Q1 = \pi / 4 * D * D * L * (1 + K3) = 3.14159 / 4 * 0.500 * 0.500 * 20.500 * (1 + 0.02) = 4.105665431$ (m3/本) ビット等損耗費率 $P = (25 * 0.000 + 80 * 12.900 + 80 * 7.600 + 80 * 0.000 + 150 * 0.000) / 20.500 = 80$ (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.12

単第0 -0009 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	5.850	人			RTPC00009 5.85*1 69
特殊作業員	11.700	人			RTPC00001 5.85*2 69
普通作業員	11.700	人			RTPC00002 5.85*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.907	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	4.006	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	5.850	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=12.9 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=7.1 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

S1030027

單第0 -0009 表

1 本 当り

鋼管外径500mm

No.12

[illegible]

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.13

単第0 -0010 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	5.740	人			RTPC00009 5.74*1 69
特殊作業員	11.480	人			RTPC00001 5.74*2 69
普通作業員	11.480	人			RTPC00002 5.74*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.884	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	3.905	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	5.740	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=12.6 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=6.9 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭(鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.13

単第0 -0010 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 12.60+0.00+0.00+6.90+0.00 = 19.50 (m / 本) 削孔日数 T1 = 12.600*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+6.900*0.34+0.000*0.44 = 4.24 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.50 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 4.24+1.50+(0.00*1.00) = 5.7400 (日 / 本)					
丸外使用量 $Q = \pi / 4 * (D1 * D1 - D * D) * L * (1 + K2) = 3.14159 / 4 * (0.550 * 0.550 - 0.500 * 0.500) * 19.500 * (1 + 0.1) = 0.884455759$ (m3/本) 生コンクリート使用量 $Q1 = \pi / 4 * D * D * L * (1 + K3) = 3.14159 / 4 * 0.500 * 0.500 * 19.500 * (1 + 0.02) = 3.905389068$ (m3/本) ビット等損耗費率 $P = (25 * 0.000 + 80 * 12.600 + 80 * 6.900 + 80 * 0.000 + 150 * 0.000) / 19.500 = 80$ (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.14

単第0 -0011 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	5.760	人			RTPC00009 5.76*1 69
特殊作業員	11.520	人			RTPC00001 5.76*2 69
普通作業員	11.520	人			RTPC00002 5.76*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.862	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	3.805	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	5.760	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=11.6 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=7.4 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.14

単第0 -0011 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 11.60+0.00+0.00+7.40+0.00 = 19.00 (m / 本) 削孔日数 T1 = 11.600*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+7.400*0.34+0.000*0.44 = 4.26 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.50 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 4.26+1.50+(0.00*1.00) = 5.7600 (日 / 本)					
丸外使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*19.000*(1+0.1) = 0.861777406(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*19.000*(1+0.02)=3.805250887(m3/本) ビット等損耗費率 P = (25*0.000+80*11.600+80*7.400+80*0.000+150*0.000)/19.000 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.15

単第0 -0012 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	4.700	人			RTPC00009 4.7*1 69
特殊作業員	9.400	人			RTPC00001 4.7*2 69
普通作業員	9.400	人			RTPC00002 4.7*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.794	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	3.505	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	4.700	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
* * * 単位当たり * * *	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=12.3 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=5.2 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.15

単第0 -0012 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 12.30+0.00+0.00+5.20+0.00 = 17.50 (m / 本) 削孔日数 T1 = 12.300*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+5.200*0.34+0.000*0.44 = 3.61 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.09 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 3.61+1.09+(0.00*1.00) = 4.7000 (日 / 本)					
丸外使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*17.500*(1+0.1) = 0.793742348(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*17.500*(1+0.02)=3.504836343(m3/本) ビット等損耗費率 P = (25*0.000+80*12.300+80*5.200+80*0.000+150*0.000)/17.500 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.16

単第0 -0013 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	4.290	人			RTPC00009 4.29*1 69
特殊作業員	8.580	人			RTPC00001 4.29*2 69
普通作業員	8.580	人			RTPC00002 4.29*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.726	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	3.204	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	4.290	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=11.8 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=4.2 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭(鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.16

単第0 -0013 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 11.80+0.00+0.00+4.20+0.00 = 16.00 (m / 本) 削孔日数 T1 = 11.800*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+4.200*0.34+0.000*0.44 = 3.20 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.09 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 3.20+1.09+(0.00*1.00) = 4.2900 (日 / 本)					
丸外使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*16.000*(1+0.1) = 0.725707290(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*16.000*(1+0.02)=3.204421800(m3/本) ビット等損耗費率 P = (25*0.000+80*11.800+80*4.200+80*0.000+150*0.000)/16.000 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.17

単第0 -0014 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.890	人			RTPC00009 3.89*1 69
特殊作業員	7.780	人			RTPC00001 3.89*2 69
普通作業員	7.780	人			RTPC00002 3.89*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.658	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	2.904	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	3.890	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 コンクリート杭 (鋼管) D=1 鋼管板厚 ~ 15mm F=0 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)			C=500 鋼管外径 (mm) E=11.2 レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) G=0 岩塊・玉石の掘削長 (m)		
H=3.3 軟岩2の掘削長 (m) J=0 溶接回数 (回/本) なし=0 L=201 【F】鋼管・H形鋼等(本)			I=0 硬岩の掘削長 (m) K=2 補助ラフテレーンクレーンなし M=202 【F】モルタル(m3)		

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.17

単第0 -0014 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 11.20+0.00+0.00+3.30+0.00 = 14.50 (m / 本) 削孔日数 T1 = 11.200*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+3.300*0.34+0.000*0.44 = 2.80 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.09 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 2.80+1.09+(0.00*1.00) = 3.8900 (日 / 本)					
丸外使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*14.500*(1+0.1) = 0.657672231(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*14.500*(1+0.02)=2.904007256(m3/本) ビット等損耗費率 P = (25*0.000+80*11.200+80*3.300+80*0.000+150*0.000)/14.500 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.18

単第0 -0015 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.570	人			RTPC00009 3.57*1 69
特殊作業員	7.140	人			RTPC00001 3.57*2 69
普通作業員	7.140	人			RTPC00002 3.57*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.612	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	2.704	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	3.570	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=11.1 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=2.4 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.18

単第0 -0015 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 11.10+0.00+0.00+2.40+0.00 = 13.50 (m / 本) 削孔日数 T1 = 11.100*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+2.400*0.34+0.000*0.44 = 2.48 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.09 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 2.48+1.09+(0.00*1.00) = 3.5700 (日 / 本)					
丸外使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*13.500*(1+0.1) = 0.612315525(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*13.500*(1+0.02)=2.703730893(m3/本) ビット等損耗費率 P = (25*0.000+80*11.100+80*2.400+80*0.000+150*0.000)/13.500 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.19,20

単第0 -0016 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.230	人			RTPC00009 3.23*1 69
特殊作業員	6.460	人			RTPC00001 3.23*2 69
普通作業員	6.460	人			RTPC00002 3.23*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.567	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	2.503	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	3.230	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=11.1 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=1.4 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施工単価表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭(鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.19,20

単第0 -0016 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 11.10+0.00+0.00+1.40+0.00 = 12.50 (m / 本) 削孔日数 T1 = 11.100*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+1.400*0.34+0.000*0.44 = 2.14 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.09 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 2.14+1.09+(0.00*1.00) = 3.2300 (日 / 本)					
鋼管使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*12.500*(1+0.1) = 0.566958820(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*12.500*(1+0.02)=2.503454531(m3/本) ビット等損耗費率 P = (25*0.000+80*11.100+80*1.400+80*0.000+150*0.000)/12.500 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.21

単第0 -0017 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.270	人			RTPC00009 3.27*1 69
特殊作業員	6.540	人			RTPC00001 3.27*2 69
普通作業員	6.540	人			RTPC00002 3.27*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.567	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	2.503	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	3.270	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=10.9 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=1.6 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭(鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.21

単第0 -0017 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 10.90+0.00+0.00+1.60+0.00 = 12.50 (m / 本) 削孔日数 T1 = 10.900*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+1.600*0.34+0.000*0.44 = 2.18 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.09 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 2.18+1.09+(0.00*1.00) = 3.2700 (日 / 本)					
丸外使用量 $Q = \pi / 4 * (D1 * D1 - D * D) * L * (1 + K2) = 3.14159 / 4 * (0.550 * 0.550 - 0.500 * 0.500) * 12.500 * (1 + 0.1) = 0.566958820$ (m3/本) 生コンクリート使用量 $Q1 = \pi / 4 * D * D * L * (1 + K3) = 3.14159 / 4 * 0.500 * 0.500 * 12.500 * (1 + 0.02) = 2.503454531$ (m3/本) ビット等損耗費率 $P = (25 * 0.000 + 80 * 10.900 + 80 * 1.600 + 80 * 0.000 + 150 * 0.000) / 12.500 = 80$ (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.22

単第0 -0018 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.210	人			RTPC00009 3.21*1 69
特殊作業員	6.420	人			RTPC00001 3.21*2 69
普通作業員	6.420	人			RTPC00002 3.21*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.544	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	2.403	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	3.210	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=10.3 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=1.7 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭(鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.22

単第0 -0018 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 10.30+0.00+0.00+1.70+0.00 = 12.00 (m / 本) 削孔日数 T1 = 10.300*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+1.700*0.34+0.000*0.44 = 2.12 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.09 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 2.12+1.09+(0.00*1.00) = 3.2100 (日 / 本)					
圧入使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*12.000*(1+0.1) = 0.544280467(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*12.000*(1+0.02)=2.403316350(m3/本) ピット等損耗費率 P = (25*0.000+80*10.300+80*1.700+80*0.000+150*0.000)/12.000 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭(鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.23

単第0 -0019 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.030	人			RTPC00009 3.03*1 69
特殊作業員	6.060	人			RTPC00001 3.03*2 69
普通作業員	6.060	人			RTPC00002 3.03*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.499	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25(20)高炉	2.203	m 3			F0000000203
鋼管杭(別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	3.030	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭(鋼管) 鋼管板厚~15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長(m)		C=500 E=9.5 G=0	鋼管外径(mm) レキ質土・軟岩1の掘削長(m) 岩塊・玉石の掘削長(m)	
H=1.5 J=0 L=201	軟岩2の掘削長(m) 溶接回数(回/本)なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長(m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施工単価表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭(鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.23

単第0 -0019 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 9.50+0.00+0.00+1.50+0.00 = 11.00 (m / 本) 削孔日数 T1 = 9.500*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+1.500*0.34+0.000*0.44 = 1.94 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.09 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 1.94+1.09+(0.00*1.00) = 3.0300 (日 / 本)					
丸外使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*11.000*(1+0.1) = 0.498923761(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*11.000*(1+0.02)=2.203039987(m3/本) ビット等損耗費率 P = (25*0.000+80*9.500+80*1.500+80*0.000+150*0.000)/11.000 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.24

単第0 -0020 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.950	人			RTPC00009 2.95*1 69
特殊作業員	5.900	人			RTPC00001 2.95*2 69
普通作業員	5.900	人			RTPC00002 2.95*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.476	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	2.103	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	2.950	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=9 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=1.5 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭(鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.24

単第0 -0020 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 9.00+0.00+0.00+1.50+0.00 = 10.50 (m / 本) 削孔日数 T1 = 9.000*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+1.500*0.34+0.000*0.44 = 1.86 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.09 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 1.86+1.09+(0.00*1.00) = 2.9500 (日 / 本)					
圧入使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*10.500*(1+0.1) = 0.476245409(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*10.500*(1+0.02)=2.102901806(m3/本) ピット等損耗費率 P = (25*0.000+80*9.000+80*1.500+80*0.000+150*0.000)/10.500 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.25

単第0 -0021 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.840	人			RTPC00009 2.84*1 69
特殊作業員	5.680	人			RTPC00001 2.84*2 69
普通作業員	5.680	人			RTPC00002 2.84*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.454	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	2.003	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	2.840	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=8.7 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=1.3 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施工単価表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭(鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.25

単第0 -0021 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 8.70+0.00+0.00+1.30+0.00 = 10.00 (m / 本) 削孔日数 T1 = 8.700*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+1.300*0.34+0.000*0.44 = 1.75 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 1.09 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 1.75+1.09+(0.00*1.00) = 2.8400 (日 / 本)					
丸外使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*10.000*(1+0.1) = 0.453567056(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*10.000*(1+0.02)=2.002763625(m3/本) ビット等損耗費率 P = (25*0.000+80*8.700+80*1.300+80*0.000+150*0.000)/10.000 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭 (鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.26

単第0 -0022 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.350	人			RTPC00009 2.35*1 69
特殊作業員	4.700	人			RTPC00001 2.35*2 69
普通作業員	4.700	人			RTPC00002 2.35*2 69
モルタル 高炉 1:1	0.408	m 3			F0000000202
生コンクリート 21-12-25 (20) 高炉	1.802	m 3			F0000000203
鋼管杭 (別途計上)	1.000	本			F0000000201
機-25 大口径ボーリングマシン運転 大口径 30kW級	2.350	日			S9000059 単第0-0002 表 69
ビット等損耗費率	80	%			#06
諸雑費	28	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 D=1 F=0	コンクリート杭 (鋼管) 鋼管板厚 ~ 15mm 砂・砂質土・粘性土の掘削長 (m)		C=500 E=7.4 G=0	鋼管外径 (mm) レキ質土・軟岩1の掘削長 (m) 岩塊・玉石の掘削長 (m)	
H=1.6 J=0 L=201	軟岩2の掘削長 (m) 溶接回数 (回/本) なし=0 【F】鋼管・H形鋼等(本)		I=0 K=2 M=202	硬岩の掘削長 (m) 補助ラフテレーンクレーンなし 【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
コンクリート杭(鋼管)

S1030027

鋼管外径500mm

No.26

単第0 -0022 表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
N=1 小型車割増なし P=203 【F】コンクリート(m3)			0=2	コンクリート(各種)	
掘削長=杭長=材料長 7.40+0.00+0.00+1.60+0.00 = 9.00 (m / 本) 設計杭径 500mm 削孔径 550mm 削孔日数 T1 = 7.400*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+1.600*0.34+0.000*0.44 = 1.65 (日 / 本) 準備建込等,充填日数 T2 = 0.70 (日 / 本)					
溶接日数 T3 =0.18*0 = 0.00 (日 / 本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.00 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 1.65+0.70+(0.00*1.00) = 2.3500 (日 / 本)					
圧入使用量 Q = π / 4*(D1*D1-D*D)*L*(1+K2) = 3.14159/4*(0.550*0.550-0.500*0.500)*9.000*(1+0.1) = 0.408210350(m3/本) 生コンクリート使用量 Q1 = π / 4*D*D*L*(1+K3) = 3.14159/4*0.500*0.500*9.000*(1+0.02)=1.802487262(m3/本) ビット等損耗費率 P = (25*0.000+80*7.400+80*1.600+80*0.000+150*0.000)/9.000 = 80 (%)					

施 工 単 価 表

機-28 クローラクレーン運転(賃料)
油圧伸縮ジブ型4.9t吊

S9000029

単第0 -0023 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	15.00	L			TTPC00013
<賃>クローラクレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊	1.00	供用日			KTPC00034
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=13 油圧伸縮ジブ型4.9t吊 C=15 軽油消費量(L/日)			B=1 運転労務数量(人/日) D=1 機械賃料数量(供用日/日)		

施 工 単 価 表

単第0 -0024 表

V0301

鋼管杭
SM570相当 φ500.0mm, t=14mm, L=4.0m

外径ほかエキストラ含む

0.1678t/m × 4.0m=0.671t

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼管杭 SKK400	0.671	t			F0101
鋼管杭外径エキストラ φ 400mm以上600mm未満	0.671	t			F0102
鋼管杭長さエキストラ 3m以上6m未満	0.671	t			F0103
鋼管杭規格エキストラ SM570相当 6 t < 20	0.671	t			F0104
鋼管杭地域エキストラ 中国B	0.671	t			F0105 見積
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	本			

施工単価表

頁0-0058

鋼管杭

V0302

単第0 -0025 表

SM570相当 φ500.0mm, t=14mm, L=4.5m

外径ほかエキストラ含む

0.1678t/m × 4.5m=0.755t

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼管杭 SKK400	0.755	t			F0101
鋼管杭外径エキストラ φ 400mm以上600mm未満	0.755	t			F0102
鋼管杭長さエキストラ 3m以上6m未満	0.755	t			F0103
鋼管杭規格エキストラ SM570相当 6 t < 20	0.755	t			F0104
鋼管杭地域エキストラ 中国B	0.755	t			見積 F0105
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	本			

施 工 単 価 表

単第0 -0026 表

鋼管杭
SM570相当 φ500.0mm, t=14mm, L=5.0m

V0303

外径ほかエキストラ含む

0.1678t/m × 5.0m=0.839t

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼管杭 SKK400	0.839	t			F0101
鋼管杭外径エキストラ φ 400mm以上600mm未満	0.839	t			F0102
鋼管杭長さエキストラ 3m以上6m未満	0.839	t			F0103
鋼管杭規格エキストラ SM570相当 6 t < 20	0.839	t			F0104
鋼管杭地域エキストラ 中国B	0.839	t			F0105 見積
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	本			

施 工 単 価 表

鋼管杭
SM570相当 φ500.0mm, t=14mm, L=5.5m

V0304
外径ほかエキストラ含む

0.1678t/m × 5.5m=0.922t

単第0 -0027 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼管杭 SKK400	0.922	t			F0101
鋼管杭外径エキストラ φ 400mm以上600mm未満	0.922	t			F0102
鋼管杭長さエキストラ 3m以上6m未満	0.922	t			F0103
鋼管杭規格エキストラ SM570相当 6 t < 20	0.922	t			F0104
鋼管杭地域エキストラ 中国B	0.922	t			F0105 見積
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	本			

施 工 単 価 表

鋼管杭
SM570相当 φ500.0mm, t=14mm, L=6.0m

V0305
外径ほかエキストラ含む

0.1678t/m × 6.0m=1.006t

単第0 -0028 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼管杭 SKK400	1.006	t			F0101
鋼管杭外径エキストラ φ 400mm以上600mm未満	1.006	t			F0102
鋼管杭規格エキストラ SM570相当 6 t < 20	1.006	t			F0104
鋼管杭地域エキストラ 中国B	1.006	t			見積 F0105
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	本			

施 工 単 価 表

V0002

単第0 -0029 表

1 基・回 当り

やぐら設置・撤去工
ラフテレーンクレーン使用の場合

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1	人			RTPC00009
とび工	1	人			RTPC00004
特殊作業員	2	人			RTPC00001
普通作業員	2	人			RTPC00002
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	基・回			

施 工 単 価 表

S1030031

単第0 -0030 表

100 m3 当り

側溝清掃車運搬
運搬距離 22.0km超え31.0km以下

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	12.987	人			RTPC00002
機-19 側溝清掃車運転 ブロワ式 ホッパ容量9.0m3 風量40m3/min	12.987	日			S9000083 単第0-0031 表 100/7.7
諸雑費	1	一式			#91
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=4 運搬距離_22.0km超え31.0km以下					
D:日当り運搬量 = 7.7(m3/日)					
普通作業員 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 7.7 = 12.987(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施工単価表

機-19 側溝清掃車運転
ブロワ式

S9000083
ホッパ容量9.0m3 風量40m3/min

単第0 -0031 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般運転手	1.00	人			RTPC00007
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	84.00	L			TTPC00013
側溝清掃車 ブロワ式 ホッパ容量9.0m3風量40m3/min	1.00	供用日			M1110051
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 C=84 ホッパ容量9.0m3_風量40m3/min 燃料消費量(L/日)			B=1 D=1 運転労務数量(人/日) 機械損料数量(供用日/日)		

施 工 単 価 表

V0309

単第0 -0032 表

20 空m 3 当り

足場工
システム足場相当

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.4	人			RTPC00009 1
とび工	2.4	人			RTPC00004 1
普通作業員	4.7	人			RTPC00002 1
諸雑費	29	%			#01 労務費計
*** 合計 ***	20	空m 3			
*** 単位当たり ***	1	空m 3			

施 工 単 価 表

単第0 -0033 表

鉄筋挿入工
現場条件II

SS000259

[規]200m以上

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋挿入工（ロックボルト工） 現場条件 2	3.900	m			TSD00011
異形棒鋼ロックボルト D19,SD345(めっき付き)	4.000	m			T230E003
グラウト注入材	0.018	m3			SSL00259 単第0-0034 表
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	本			
A=2 現場条件II D=4 鋼材の長さ(m) F=3.9 削孔長(m/本)			B=1 異形棒鋼ロックボルト_D19,SD345 E=65 削孔径(mm) G=3 材料別途		
I=3 材料別途 M=6 材料別途 Q=3 材料別途			K=3 材料別途 O=3 材料別途 S=1 -		
V=1 標準(0.4) Y=1 -			X=1 [規]200m以上		

グラウト注入材

SSL00259

施 工 単 価 表

単第0 -0034 表

頁0-0067

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
セメント 普通 2 5 k g 袋入	1,230.000	kg			TTPCD0094
諸雑費	1	一式			#91
* * * 単位当たり * * *	1	m3			
A=1 -					

削孔機械の上下移動

SS000261

施 工 単 価 表

単第0 -0035 表

頁0-0068

1 回 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋挿入工（ロックボルト工） 削孔機械の上下移動	1.000	回			TSD00015
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	回			

仮設足場の設置・撤去

SS000263

施 工 単 価 表

単第0 -0036 表

頁0-0069

1 空m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋挿入工（ロックボルト工） 仮設足場の設置・撤去	1.000	空m 3			TSD00017
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	空m3			

施 工 単 価 表

SS000187

単第0 -0037 表

ラス張工
[規]100m2以上250m2未満

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
吹付粹工 ラス張工	1.000	m ²			TS934
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=4 [規]100m2以上250m2未満			C=2		ラス張工で法面清掃を必要としない場合

ケーブル設置工

V0202

施 工 単 価 表

単第0 -0038 表

頁0-0071

100 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.0	人			RTPC00009 1
法面工	8.0	人			RTPC00003 1
普通作業員	2.0	人			RTPC00002 1
諸雑費	3	%			#01 労務費計
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

プレート取付工

V0204

施工単価表

単第0 -0039 表

頁0-0072

100

箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.85	人			RTPC00009 1
特殊作業員	11.40	人			RTPC00001 1
普通作業員	2.85	人			RTPC00002 1
諸雑費	3	%			#01 労務費計
*** 合計 ***	100	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施 工 単 価 表

プレート構成
ネット補強材

V0201

単第0 -0040 表

1 組 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スパーサー D19用(めっき付き)	2	個			T230E013
角座金 ESプレート同等 溶融亜鉛めっき 300×300	1	枚			F0201 見積
押さえパイプ φ101.6×3.2×50 溶融亜鉛めっき	1	個			F0202 見積
ケーブル固定用Uボルト ES-Uボルト同等 M12 溶融亜鉛めっき	4	個			F0209 見積
頭部キャップ アルミニウム合金鋳物 防錆材含む	1	個			F0203
球面ナット 溶融亜鉛めっき D19	1	個			F0204
頭部ワッシャー 溶融亜鉛めっき D19	1	個			F0205 見積
ゴムシース D19	1	個			F0206
カップラー D19	1	個			F0207
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	組			

クロスクリップ設置工

V0203

施工単価表

単第0 -0041 表

頁0-0074

100

箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.25	人			RTPC00009 1
法面工	0.50	人			RTPC00003 1
普通作業員	0.25	人			RTPC00002 1
ケーブル固定用クロスクリップ SKクロスクリップ同等 溶融亜鉛めっき	100	個			F0210 見積
諸雑費	3	%			#01 労務費計
*** 合計 ***	100	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施 工 単 価 表

頁0-0075

大型土のう撤去
設置作業半径 6m以下

S1050057

設置面高さ -3m H 2m

単第0 -0042 表

10

袋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.087	人			RTPC00009
特殊作業員	0.087	人			RTPC00001
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.087	日			S9035 単第0-0043 表
諸雑費	0.4	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=1 設置作業半径_6m以下			B=1 設置面高さ_-3m H 2m		
土木一般世話役 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 115 = 0.087(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 115 = 0.087(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ(クローラ型)運転 = 10 / D = 10 / 115 = 0.087(日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

単第0 -0043 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	101.00	L			TTPC00013
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	1.21	供用日			KTPC00006
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=5 クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=101 D=1.21	軽油消費量(L/日) 機械賃料数量(供用日/日)	

残土運搬

V0312

施工単価表

単第0 -0044 表

頁0-0077

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離0.2km以下	1	m3			SPK25040002 単第0-0045 表
整地 残土受入れ地での処理	1	m3			SPK25040003 単第0-0046 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	m 3			

施工単価表

頁0-0078

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0045 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離0.2km以下

1

m3 当り

機械構成比: 26.52% 労務構成比:

61.90%

材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
一般運転手	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=1 距離0.2km以下			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施 工 単 価 表

SPK25040003

単第0 -0046 表

整地
残土受入れ地での処理

機械構成比： 22.45% 労務構成比： 52.33% 材料構成比： 25.22% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排1～3,2011,2014	22.45%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
特殊運転手	52.33%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	25.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 残土受入れ地での処理					

廃プラスチック運搬

V0313

施 工 単 価 表

単第0 -0047 表

頁0-0080

1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離28.0km以下(24.0km超)	1	t			SPK25040411 単第0-0048 表
現場発生品及び支給品積み込み・荷卸し クレーン装置付BT2t積2.9t吊	1	t			SPK25040412 単第0-0049 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	t			

施工単価表

頁0-0081

現場発生品及び支給品運搬

SPK25040411

単第0 -0048 表

クレーン装置付BT2t積2.9t吊

片道運搬距離28.0km以下(24.0km超)

1

t 当り

機械構成比： 13.79%

労務構成比：

83.40%

材料構成比：

2.81%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊運転手	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 C=20 片道運搬距離28.0km以下(24.0km超)			B=1 DID区間無し		

現場発生品及び支給品積込み・荷卸し
クレーン装置付BT2t積2.9t吊

SPK25040412

施工単価表

単第0 -0049 表

1

t 当り

機械構成比： 13.73% 労務構成比： 83.47% 材料構成比： 2.80% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.73%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊運転手	41.98%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.08%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	2.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t積2.9t吊					

施 工 単 価 表

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.152	人			RTPC00009 9
とび工	0.152	人			RTPC00004 9
普通作業員	0.152	人			RTPC00002 9
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.152	日			S9035 単第0-0051 表 9
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
土木一般世話役 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め とび工 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ(クローラ型)運転 = 100 / D = 100 / 656 = 0.152(日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施工単価表

機-28 バックハウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

単第0 -0051 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	119.00	L			TTPC00013
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	1.06	供用日			KTPC00006
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=19 クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=119 軽油消費量(L/日) D=1.06 機械賃料数量(供用日/日)		

敷鉄板撤去

S1050043

施 工 単 価 表

単第0 -0052 表

頁0-0085

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.143	人			RTPC00009 9
とび工	0.143	人			RTPC00004 9
普通作業員	0.143	人			RTPC00002 9
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.143	日			S9035 単第0-0051 表 9
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
土木一般世話役 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め とび工 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ(クローラ型)運転 = 100 / D = 100 / 701 = 0.143(日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

頁0-0086

敷鉄板賃料

S1050029

単第0 -0053 表

22×1524×3048,802kg/枚

賃貸期間317日

1 枚 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(賃料)鉄板 22×1524×3048,802kg/枚 360日以内	317.000	枚・日			K0100069
(賃料)鉄板 22×1524×3048,802kg/枚 整備費	1.000	枚			K0100073
諸雑費	1	一式			#91
* * * 単位当たり * * *	1	枚			
A=3 22×1524×3048,802kg/枚 C=317 敷鉄板賃貸期間 (日)			B=1 賃料 D=2 整備費有り		

施 工 単 価 表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 S1000007
運搬距離 186km 製品長 12m以内

単第0 -0054 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃 運搬距離 186km 製品長 12m以内 運搬質量 94t	1.000	一式			S1000009 単第0-0055 表
往復					+00
積込み,取卸しに要する費用	1.000	一式			S1000009 単第0-0056 表
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=186 運搬距離(km) C=1 - E=94 運搬質量(t) H=1 - L=1 基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			B=1 12m以内 D=1 - F=1 - J=1 -		

S1000009

單第0 -0055 表

製品長 12m以内 運搬質量 94t

1 式 当り

[illegible]

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

施 工 単 価 表

単第0 -0056 表

頁0-0089

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材積込み費（基地）	94.000	t			KR00E006
仮設材取卸し費（現場）	94.000	t			KR00E009
仮設材積込み費（現場）	94.000	t			KR00E008
仮設材取卸し費（基地）	94.000	t			KR00E007
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=5 積込み,取卸しに要する費用 K=1 基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			D=94 運搬質量(t)		

単 価 一 覧 表

(工事名) 令和8年災第2号市道早牛勝部線道路災害復旧工事(2工区)

名 称	規 格	単位	採用価格	備 考
ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型)	70t吊オペレータ付 長期割引適用外	日		建設物価 9 月 P. 809
ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型)	50t吊オペレータ付 長期割引適用外	日		建設物価 9 月 P. 809
〈賃〉クローラクレーン (油圧伸縮ジブ型)	4.9t吊 長期割引適用	日		建設物価 9 月 P. 802
吊金具	取付費含む	kg		建設物価 9 月 P. 6
杭吊り穴加工費	φ 50mm	箇所	3,000	見積価格
モルタル注入孔加工費	φ 62mm	箇所	4,100	見積価格
足場材(賃料)	杭No.1～杭No.26	式	1,766,958	見積価格
足場材(賃料)	杭No.14～杭No.26	式	1,070,733	見積価格
足場材(基本料)	杭No.1～杭No.26	式	279,569	見積価格
ケーブル	φ 10 7*7 AZ/0 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ	m	1,210	見積価格
ケーブル端末キャップ	アルミニウム合金押出形材	個	280	見積価格
足場材(賃料)	引き込み足場	式	2,167,963	見積価格
足場材(基本料)	引き込み足場	式	167,493	見積価格
モルタル	高炉1:1	m3		建設物価 9 月 P. 105
鋼管杭	SKK400	t		建設物価 9 月 P. 5
鋼管杭外径エキストラ	φ 400mm以上600mm未満	t		建設物価 9 月 P. 5
鋼管杭長さエキストラ	3m以上6m未満	t		建設物価 9 月 P. 5
鋼管杭規格エキストラ	SM570相当 6≦t<20	t	39,000	見積価格
鋼管杭地域エキストラ	中国B 陸上12m以下	t		建設物価 9 月 P. 6
鋼管杭継手エキストラ	継手ねじ加工費	箇所	200,000	見積価格
鉄筋挿入工 (ロックボルト工)	現場条件2	m		コスト情報 7 月 P. 141
異形棒鋼ロックボルト	D19 SD345(めっき付き)	m		県単価 9 月
スペーサー	D19用(めっき付き)	個		県単価 9 月
角座金	ESプレート同等 溶融亜鉛メッキ 300*300	枚	11,900	見積価格
押さえパイプ	φ 101.6*3.2*50 溶融亜鉛メッキ	個	12,500	見積価格
ケーブル固定用Uボルト	ES-Uボルト同等 M12 溶融亜鉛メッキ	個	1,000	見積価格
頭部キャップ	アルミニウム合金鋳物 防錆材含む	個		建設物価 9 月 P. 72

単 価 一 覧 表

(工事名) 令和8年災第2号市道早牛勝部線道路災害復旧工事(2工区)

名 称	規 格	単位	採用価格	備 考
球面ナット	溶融亜鉛メッキ D19	個		建設物価 9 月 P. 72
頭部ワッシャー	溶融亜鉛メッキ D19	個	2,910	見積価格
ゴムシース	D19	個		建設物価 9 月 P. 72
カップラー	D19	個		建設物価 9 月 P. 72
鉄筋挿入工 (ロックボルト工)	削孔機械の上下移動	回		コスト情報 7 月 P. 141
鉄筋挿入工 (ロックボルト工)	仮設足場の設置・撤去	空m3		コスト情報 7 月 P. 141
ラス張工		m2		コスト情報 7 月 P. 133
ケーブル固定用 クロスクリップ	SKクロスクリップ同等 溶融亜鉛メッキ	個	1,110	見積価格

数量総括表

工 事 名	令和8年災第2号市道早牛勝部線道路災害復旧工事(2工区)			事 業 区 分	
				工 事 区 分	
工事区分・工種・種別・細別		規 格	単 位	数 量	摘 要
抑止杭工・アンカー工					
既成杭工					
鋼管杭（SM570相当）		φ 500.0×14.0t	本	26	
		(杭重量)	t	73.5	
杭内訳		4.0m	本	17	
		4.5m	本	15	
		5.0m	本	33	
		5.5m	本	12	
		6.0m	本	12	
削孔 φ 550		レキ質土	m	59.6	
		軟岩Ⅰ	m	244.0	
		軟岩Ⅱ	m	134.9	
補助クレーン(地上)		ラフテレーンクレーン70t	日	2	
補助クレーン(地上)		ラフテレーンクレーン50t	日	26	
補助クレーン(足場上)		クローラクレーン4.9t吊り	日	202	
補助クレーン(足場上)		クローラクレーン4.9t吊り運転	日	26	
泥水処理		L=24.9km DID有	m3	156	
泥水処分費			t	171	
ネジ継手			箇所	63	
吊り金具			kg	252	
吊り穴加工		φ 50	箇所	52	
モルタル注入孔加工		φ 62	箇所	52	
やぐら設置撤去			回	1	
足場工		システム足場相当 (W=4.8m)	空m3	653	
法面工					
ワイヤーネット併用鉄筋挿入工					
〔鉄筋挿入工〕					
補強材挿入		SD345 D19 L=4.0m	本	85	
足場工		単管(W=3.0m)	空m3	567	
削孔機械移設工		上下移動(搬入・搬出を含む)	回	5	

数量総括表

工 事 名	令和8年災第2号市道早牛勝部線道路災害復旧工事(2工区)			事 業 区 分	
				工 事 区 分	
工事区分・工種・種別・細別		規 格	単 位	数 量	摘 要
〔ワイヤーネット工〕					
金網張工		φ 2.6×50×50(めっき)	m2	196	
ケーブル設置工			m2	196	
ケーブル		φ 10 7×7 ZA/0	m	893.9	
プレート取付工			箇所	85	
プレート構成		ネット補強材	組	85	
クロスクリップ設置工			個	777	
ケーブル端末キャップ		φ 14	個	154	
構造物撤去工					
大型土のう撤去工					
大型土のう撤去			袋	29	
残土		L=0.1km DID無	m3	24	
廃ブラ運搬工		L=27.6km DID無	t	0.1	
廃ブラ処分工			m3	0.2	
仮設工					
仮設工					
引き込み足場		システム足場相当(W=4.8m)	空m3	262	
敷鉄板設置撤去		22×1524×3048	m2	153	
敷鉄板損料		在場期間317日	枚	34	
交通管理工					
交通誘導警備員B			人	15	
運搬費					
仮設材運搬費					
敷鉄板			t	27	
足場			t	67	

数量計算書

工種:抑止杭・アンカー工				区分	
種別:既製杭工					
細 別	規 格	計 算 式			単位 数 量
鋼管杭					本 26
杭重量(570材)	φ 500.0×14.0t	W= 167.8 kg/m			t 73.58
	4.0m	N= 17 本	Σ L= 68.0 m	11410.4 kg/m	
	4.5m	N= 15 本	Σ L= 67.5 m	11326.5 kg/m	
	5.0m	N= 33 本	Σ L= 165.0 m	27687.0 kg/m	
	5.5m	N= 12 本	Σ L= 66.0 m	11074.8 kg/m	
	6.0m	N= 12 本	Σ L= 72.0 m	12081.6 kg/m	
	合計	(杭総長) 438.5 m Σ W= 73580.3 kg			
削孔 φ 550	レキ質土	L= 59.6			m 59.6
	軟岩Ⅰ	L= 115.9 + 128.1			m 244.0
	軟岩Ⅱ	L= 116.8 + 18.1			m 134.9
	計	(杭工削孔数量表より)			m 438.5
補助クレーン(地上)	ラフテレーン クレーン70t	N=			日 2
補助クレーン(地上)	ラフテレーン クレーン50t	N=			日 26
補助クレーン(足場上)	クローラ クレーン4.9t	N= 228 - 26			日 202
補助クレーン(足場上)	クローラ クレーン4.9t運転	N=			日 26
泥水処理	割増係数(1.5)	V= 1/4×π×0.55 ² × 438.5 ×1.5 = 156.3			m3 156.3
泥水処分費		W= 156.3 ×1.1 =			t 171.9
外周モルタル	1:1.0	V=1/4×π×(0.55 ² -0.500 ²) ×438.5 ×(1+0.1) =			m3 (19.89)
中詰コンクリート	σ ck=18N/mm ²	V = 1/4×π×0.472 ² ×438.5 ×(1+0.02) =			m3 (78.26)
ネジ継手		N= (杭工数量より)			箇所 63
吊り金具	(中杭・下杭)×2	N= (89 本 - 26本) ×2個 ×2.0kg =			kg 252
吊り穴加工 φ 50	(杭本数)×2	N= 26 本 ×2個 =			個 52
モルタル注入管	SGP50A	L= 438.5 ×2本 =			m (877.0)
同上(エルボ、ソケット)	SGP50A	N= 26 × 2 本 =			各個 (52)
同上取付穴加工	φ 62	N= 26 × 2 本 =			個 52
やぐら設置撤去					回 1
システム足場工	W=4.8m				空m3 653.2
		V= 44.7 × 4.8 = 214.6			
		V= 48.3 × 4.8 ×19.9 /16.0 = 288.4			
		V= 31.3 × 4.8 = 150.2			
		Σ V= 653.2			

杭工削孔集計表

杭番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	小計
杭長（全長）	20.5	20.5	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	20.5	20.5	208.0
礫質土	2.0	2.0	2.1	2.1	2.3	2.5	2.6	2.4	2.1	1.8	21.9
軟岩Ⅰ	3.4	3.6	3.7	3.7	3.6	3.4	3.3	3.4	3.7	4.1	35.9
軟岩Ⅱ	6.7	6.9	7.0	7.0	7.0	6.8	6.8	6.8	6.9	6.8	68.7
軟岩Ⅰ	6.8	7.1	7.3	7.4	7.3	7.3	7.2	7.1	7.0	7.0	71.5
軟岩Ⅱ	1.6	0.9	0.9	0.8	0.8	1.0	1.1	1.3	0.8	0.8	10.0
小計	礫・軟岩Ⅰ	12.2	12.7	13.1	13.2	13.2	13.2	13.1	12.9	12.8	129.3
	軟岩Ⅱ	8.3	7.8	7.9	7.8	7.8	7.8	7.9	8.1	7.7	78.7

杭番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	小計
杭長（全長）	20.5	20.0	19.5	19.0	17.5	16.0	14.5	13.5	12.5	12.5	165.5
礫質土	1.7	2.3	2.8	3.5	3.3	2.9	2.1	1.8	1.7	1.9	24.0
軟岩Ⅰ	4.2	3.7	2.9	2.4	2.3	2.6	3.1	3.6	3.9	9.2	37.9
軟岩Ⅱ	6.8	6.4	5.9	6.4	4.4	3.4	2.4	1.3	0.5	1.4	38.9
軟岩Ⅰ	6.9	6.9	6.9	5.7	6.7	6.3	6.0	5.7	5.5		56.6
軟岩Ⅱ	0.9	0.7	1.0	1.0	0.8	0.8	0.9	1.1	0.9		8.1
小計	礫・軟岩Ⅰ	12.8	12.9	12.6	11.6	12.3	11.8	11.2	11.1	11.1	118.5
	軟岩Ⅱ	7.7	7.1	6.9	7.4	5.2	4.2	3.3	2.4	1.4	47.0

杭番号		21	22	23	24	25	26	小計	合計	平均延長
杭長（全長）		12.5	12.0	11.0	10.5	10.0	9.0	65.0	438.5	16.9
礫質土		2.4	2.4	2.2	2.3	2.6	1.8	13.7	59.6	
軟岩Ⅰ		8.5	7.9	7.3	6.7	6.1	5.6	42.1	115.9	
軟岩Ⅱ		1.6	1.7	1.5	1.5	1.3	1.6	9.2	116.8	
軟岩Ⅰ									128.1	
軟岩Ⅱ									18.1	平均延長
小計	礫・軟岩Ⅰ	10.9	10.3	9.5	9.0	8.7	7.4	55.8	303.6	11.7
	軟岩Ⅱ	1.6	1.7	1.5	1.5	1.3	1.6	9.2	134.9	5.2

鋼管杭集計表

杭番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	小計	杭長 m/本	本数 本
計画高	FH.1	79.8	80.0	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2			
	FH.2	59.3	59.5	59.2	59.2	59.2	59.2	59.2	59.2	59.2	59.7	59.7		
杭長	上杭	5.5	4.0	6.0	4.5	6.0	4.5	6.0	4.5	5.5	4.0	50.5	4.0	2
	中杭2	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	50.0	4.5	3
	中杭1	5.0	6.0	5.0	6.0	5.0	6.0	5.0	6.0	5.0	6.0	55.0	5.0	20
	下杭	5.0	5.5	5.0	5.5	5.0	5.5	5.0	5.5	5.0	5.5	52.5	5.5	7
小計	全長	20.5	20.5	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	20.5	20.5	208.0	6.0	8
	継手	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30	40	

杭番号		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	小計	杭長 m/本	本数 本
計画高	FH.1	80.1	79.9	79.4	79.4	78.9	78.6	78.2	78.4	78.7	79.2			
	FH.2	59.6	59.9	59.9	60.4	61.4	62.6	63.7	64.9	66.2	66.7			
杭長	上杭	5.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.0	4.0	4.5	45.0	4.0	10
	中杭2	5.0	4.0	5.0	4.0	4.0						22.0	4.5	8
	中杭1	5.0	6.0	5.0	5.0	4.0	6.0	5.0	4.0	4.0	4.0	48.0	5.0	10
	下杭	5.0	5.5	5.0	5.5	5.0	5.5	5.0	5.5	4.5	4.0	50.5	5.5	5
小計	全長	20.5	20.0	19.5	19.0	17.5	16.0	14.5	13.5	12.5	12.5	165.5	6.0	2
	継手	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	25	35	

杭番号		21	22	23	24	25	26	小計	合計	杭長 m/本	本数 本	総本数
計画高	FH.1	79.7	79.6	79.2	79.0	78.9	77.8					
	FH.2	67.2	67.6	68.2	68.5	68.9	68.8					
杭長	上杭	4.0	4.0	6.0	6.0	5.0	4.5	29.5	125.0	4.0	5	17
	中杭2							0.0	72.0	4.5	4	15
	中杭1	4.0	4.0					8.0	111.0	5.0	3	33
	下杭	4.5	4.0	5.0	4.5	5.0	4.5	27.5	130.5	5.5		12
小計	全長	12.5	12.0	11.0	10.5	10.0	9.0	65.0	438.5	6.0	2	12
	継手	2	2	1	1	1	1	8	63	14		89

鋼管杭長さ別集計表

上杭 570材 ϕ 500.0 ×14.0t				
鋼管杭長さ (m)	本数 (本)	1m当たり重量 (kg/m)	1本当たり重量 (kg/本)	重量 (kg)
4.0	17	167.8	671.2	11410.4
4.5	15	167.8	755.1	11326.5
5.0	33	167.8	839.0	27687.0
5.5	12	167.8	922.9	11074.8
6.0	12	167.8	1006.8	12081.6
合 計	89		Σ L=438.5m	73580.3

W= π/4× (0.5000² - 0.472²) × 7850kg/ mm/m2 = 167.8 kg/m

数量計算書

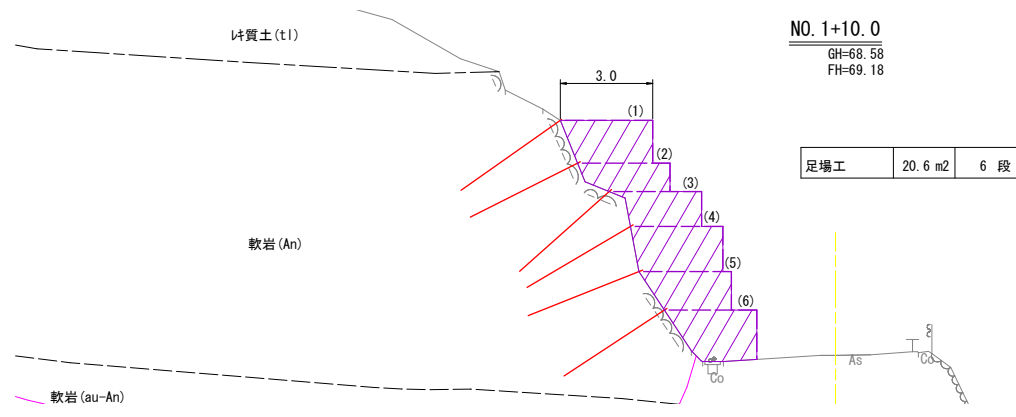
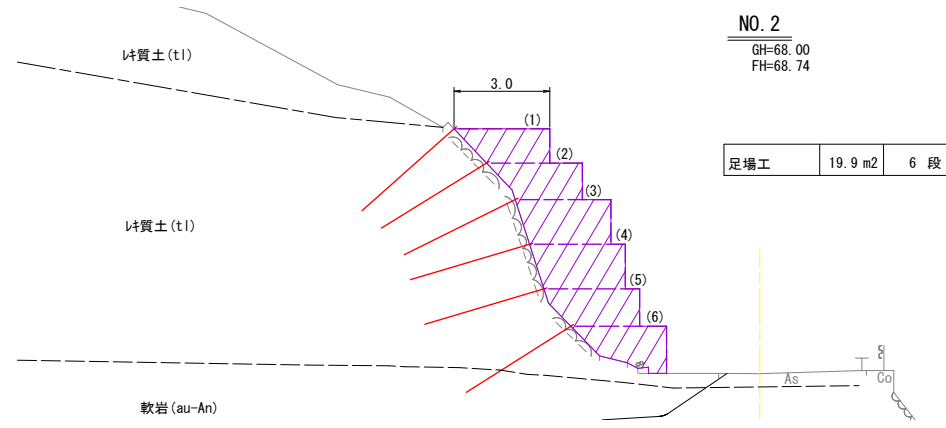
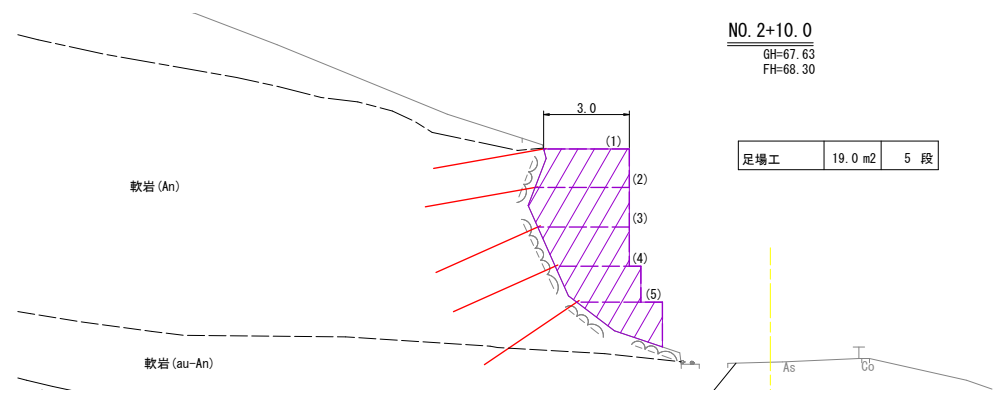
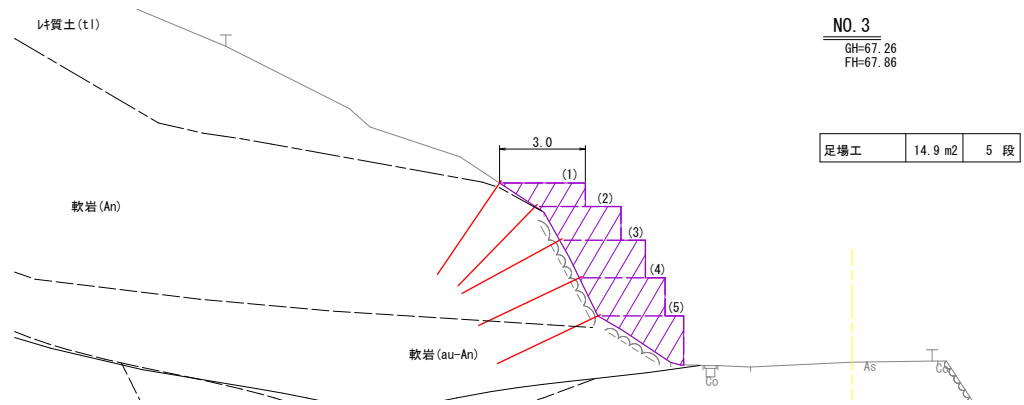
[illegible]

数量計算書

[illegible]

[illegible]

鉄筋挿入工足場数量根拠図



数量計算書

[illegible]

数量計算書

[illegible]

足場材重量（参考）

種別	規格	単重量 (kg)	合計	
			必要枚数	重量
単管パイプ	4.0M	10.92	25	273.0
単管パイプ	3.0M	8.19	5	41.0
単管パイプ	2.5M	6.83	290	1,980.7
単管パイプ	2.0M	5.46	2	10.9
単管パイプ	1.0M	2.73	4	10.9
単管パイプ	1.5M	4.10	8	32.8
角パイプ	60K4.0M	16.24	140	2,273.6
角パイプ	60K3.0M	12.18	44	535.9
角パイプ	60K2.5M	10.15	42	426.3
角パイプ	60K2.0M	8.12	15	121.8
角パイプ	60K1.5M	6.09	7	42.6
兼用直交クランプ	ARC1	0.70	88	61.6
直線ジョイント	PCJ	0.60	25	15.0
固定ベース	PKB	0.70	103	72.1
上柱直交クランプ	MSI1C	1.70	105	178.5
上柱自在クランプ	MSI2C	1.80	489	880.2
バーチカル	VPHS06	3.50	226	791.0
バーチカル	VPHS09	5.20	182	946.4
バーチカル	VPHS12	6.90	67	462.3
バーチカル	VPHS15	8.70	24	208.8
バーチカル	VPHS18	10.40	107	1,112.8
水平ゾンタル	HL0311	1.80	105	189.0
水平ゾンタル	HL0627	2.60	1277	3,320.2
水平ゾンタル	HL0857	3.20	779	2,492.8
斜めブレース	BOC209	6.20	155	961.0
斜めブレース	BOC809	7.30	100	730.0
斜めブレース	BOC813	9.10	145	1,319.5
斜めブレース	BOC815	9.30	1	9.3
斜めブレース	BOC818	9.80	38	372.4
キャップ	SJC01	0.20	780	156.0
ジャッキベース	SJBH20A	6.00	339	2,034.0
カップリングピン	CP03	0.80	200	160.0
ピグテイルピン	LP03	0.20	399	79.8
ベースカラー	BC03	2.00	126	252.0
大引受ジャッキ	UJ01	8.00	441	3,528.0
大引材	NSL4000	19.60	24	470.4
大引材	NSL3670	18.00	44	792.0
大引材	NSL3050	15.00	1	15.0
大引材	NSL2445	12.10	46	556.6
大引材	NSL1835	9.10	5	45.5
大引材	NSL1530	7.60	2	15.2
大引材	NSL1225	6.10	3	18.3
大引材	NSL0906	4.60	5	23.0
アングルパレット	PA01	13.00	26	338.0
敷鉄板	NT22X5X10	802.00	49	39,298.0
		合計	(kg)	67,654
			(t)	67.7

※杉板・杉板敷板は大口径ボーリングマシンの諸雑費に含まれる。

現場説明書

1

令和8年7月10日以降適用（鳥取市）

仕様書	①この契約において適用する仕様書は特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」とし、調達公告日時点で最新の仕様書（https://www.pref.tottori.lg.jp/294862.htm）によること。 ②仕様書特記事項第2条の表1-1-1-9工事の下請負の項中「鳥取県調査基準価格及び最低制限価格等設定要領第5条」とあるのは、「鳥取市建設工事低入札価格調査制度実施要領（令和3年3月31日制定）第4条」と読み替えるものとする。 ③仕様書特記事項第2条の表1-1-1-35諸法令の遵守の項中「鳥取県暴力団排除条例（平成23年鳥取県条例第3号）」とあるのは「鳥取市暴力団排除条例（平成24年3月鳥取市条例第1号）」と読み替えるものとする。										
工程	①（他工事等との調整） _____については、_____と関連するので相互の連絡調整を密にすること。 ②（部分完成、着工保留） _____については、_____まで_____（すること、しないこと）。 ③（施工時間） 本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：00～17：00）を見込んでいる。 _____の施工時間は、_____：_____～_____：_____とする。 ④（標準工期） 本工事における標準工期については以下の条件で算定している。また、余裕期間設定工事については実工期に余裕期間を加えたものを標準工期としている。 <table border="1" data-bbox="327 705 1394 871"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>適 用</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工期の設定方法</td><td>標準工期算定式・標準作業量による積み上げ日数</td></tr> <tr> <td>本工事に使用する雨休率</td><td>0.90（R2～R6 5年間平均値）</td></tr> <tr> <td>休日・悪天候以外の作業不能日</td><td>日（令和 年 月 日～令和 年 月 日）</td></tr> <tr> <td>標準工期（全体工期）</td><td>350日（余裕期間含む・含まない）</td></tr> </tbody> </table> ⑤（余裕期間設定工事） 本工事は、鳥取市余裕期間設定工事に係る実施要領（平成29年10月24日付事務連絡都市企画課長通知）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 標準工期については、④のとおりとする。 ⑥（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） この工事の工期には、鋼材調達期間として、3ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 ⑦（週休2日工事） 本工事は、鳥取市週休2日工事試行実施要領（令和8年5月1日付検査契約課長通知）の対象工事である。 https://www.city.tottori.lg.jp/site/nyusastu-keiyaku/1684.htmlに掲載された最新の同要領の規定に従い週休2日工事に努めること。	項 目	適 用	工期の設定方法	標準工期算定式・標準作業量による積み上げ日数	本工事に使用する雨休率	0.90（R2～R6 5年間平均値）	休日・悪天候以外の作業不能日	日（令和 年 月 日～令和 年 月 日）	標準工期（全体工期）	350日（余裕期間含む・含まない）
項 目	適 用										
工期の設定方法	標準工期算定式・標準作業量による積み上げ日数										
本工事に使用する雨休率	0.90（R2～R6 5年間平均値）										
休日・悪天候以外の作業不能日	日（令和 年 月 日～令和 年 月 日）										
標準工期（全体工期）	350日（余裕期間含む・含まない）										
用地関係	①（用地、物件等未処理） 本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。										
支障物件	①（埋設物等の事前調査） 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）について調査済み〕である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。 ②（支障物件） 法面工の施工に当って、電柱・架空線が支障となっているが、令和9年3月末頃までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 ③（立本の置き場所） 工事用地内の立本は伐採し、_____に置くこと。										
公害対策	①（低騒音型・低振動型建設機械） 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要があるもので、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種：_____、施工機械：_____										

現場説明書

2

安全対策

①（交通安全施設等）

一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。

交通誘導員 A 人 交替要員 人 1 日あたり合計 人 配置日数 日
工事全体合計 人・日

交通誘導員B 1人 交替要員 無し人 1日あたり合計 1人 配置日数 15日
 工事全体合計 人・日

警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。

交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。

なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。

濁水処理

① (濁水処理)

工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難い場合は別途協議すること。

また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について（平成29年10月3日付事務連絡生活環境課長通知）に基づいて適正に処理すること。

~~(参考URL <https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf>)~~

~~②（千代川水系における濁水防止対策）~~

本工事は千代川水系内における工事であり、濁水防止対策等については、千代川漁業対策協議会事業調整会議において〔未調整・調整済み〕である。

なお、未調整工事については、 までに調整を行う予定である。

工事の実施にあたっては、現場説明書 8、9 を遵守し、汚濁等の防止に努めること。

建設副産物の処理

【建設発生土（処理）】

工事現場から離れた場所に一定規模以上の一時的な土石の堆積を行う場合は宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。

(参考URL <https://www.city.tottori.lg.jp/page/5562.html>)

~~① (他工事等流用)~~

建設発生主は_____市・町・村_____地内の_____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。

~~② (建設技術センター)~~

建設発生主は_____市・町・村_____地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として1m³当り_____円をセンターに支払うこと。

センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、フーン指数300kN/m²以上)

~~③ (民間残土受入地)~~

建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ に運搬（片道運搬距離 _____ km）するものとする。なお、処理費として1m³当り _____ 円を _____ に支払うこと。

民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数 300kN/m²以上）

~~④ (土質改良プラント)~~

建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として1m³当り_____円を_____に支払うこと。

土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。
(土質性状 (記載例) 砂質土、フーン指数 300kN/m²以上)

~~【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】~~

~~① (分别解体等)~~

~~コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。~~

コンクリート塊 1 m³当り 円

アスファルト塊 1 m³当り 円

建設発生木材 1 m³当り _____ 円

~~② (他工事等流用)~~

〔Co塊・ 〕は、 市・町・村 地内 工事現場に運搬（片道運搬距離 km）するものとする。

③（バイオマス発電燃料加工施設への搬出）

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____のバイオマス発電燃料加工施設への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、1 t 当り_____円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。なお、公共工事で伐採する支障木は、一般木質バイオマスとして区分される。一般木質バイオマスであることは、立木の所有者（鳥取市）自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、（所有者（鳥取市）・伐採・運搬を行う者）により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④（木材市場等へ売却）

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑤（再資源化施設へ搬出）

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

（施設の名称・受入れ費用）

コンクリート塊 _____市・町・村_____地内の_____
（運搬距離_____km）、費用 1 t 当り_____円

アスファルト塊 _____市・町・村_____地内の_____
（運搬距離_____km）、費用 1 t 当り_____円

建設発生木材 _____市・町・村_____地内の_____
（運搬距離_____km）、費用 1 t 当り_____円

その他（汚泥） 鳥取 市・町・村 湖山町東2丁目 地内の（旬森本組）
（運搬距離 24.9 km）、費用 1 t 当り 15,000 円

その他（廃プラスチック） 鳥取 市・町・村 上原 地内の（千代興業）
（運搬距離 27.6 km）、費用 1 t 当り 7,000 円

（受入れ時間帯） 8時～17時（平日）

（受入れ条件） ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。

イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。

ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm以下、長さ_____m以下であること。

エ 2次災害発生の恐れのある物質（廃油等）を含まないこと。

⑥（最終処理等）

_____については、_____市・町・村_____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、その費用として1 t 当り_____円を見込んでいる。

これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑦（産業廃棄物の処理に係る税）

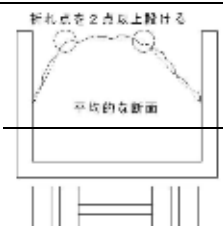
産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、_____円見込んでいる。

⑧（伐木王歩掛及び参考数量）

伐木王は伐木王歩掛（令和元年10月15日付第201900175199号鳥取県県土整備部技術企画課長通知）による。また伐採工計算書に基づき参考数量として算出しているため、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨（建設発生木材の出来形数量）

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。 ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、マニフェストで運搬量（体積（空m3））が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	 折れ点を2点以上設ける 平均的な断面
建設発生木材搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑩（マニフェスト）

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の使用	①（建設発生土の使用） _____工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。 ②（再生資材の使用） ア Co雑割材は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 ウ 再生クラッシュラン（規格：RC-_____）は、使用箇所：_____に使用する。 エ 再生コンクリート砂（規格：RS-_____）は、使用箇所：_____に使用する。 オ 再生加熱アスファルト混合物（規格：_____）は、使用箇所：_____に使用する。 カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該砕石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生砕石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生砕石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 ク 本工事において、粒度調整砕石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。
工事用道路	①（農地の一時転用について） 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に鳥取市農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。（該当がなければ記載を削除）】 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、鳥取市農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。 ②（農地の賃貸借） ア _____の用途に使用するため、鳥取市_____番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「鳥取市との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取市が有することとし、原状復旧の責は鳥取市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
その他の	①（自社施工） 本工事においては、（ アンカー工（鉄筋挿入工） ）（ _____工を除く）のうち少なくとも _____千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領（平成22年7月12日付第201000057710号県土整備部長通知）に定めるところにより自社施工しなければならない。 ※該当する細別（レベル4）を記載する。 ②（工事名称） 工事標示板に記載する名称は、 <u>災害復旧を行っています。</u> とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。 ③（監督体制） 本工事の監督体制は（一般・重点）監督とする。 重点監督の工種は _____ とし、その他の工種は一般監督とする。 なお、鳥取市建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。 ④（三者協議） 本工事は、 _____ 工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用） ⑤（技能士常駐） 本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。 ア 技能士種別： _____ 技能士、該当工種： _____ 工、特記事項根拠： _____ 頁 イ 技能士種別： _____ 技能士、該当工種： _____ 工、特記事項根拠： _____ 頁 ウ 技能士種別： _____ 技能士、該当工種： _____ 工、特記事項根拠： _____ 頁 ⑥（電子納品） 情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。 情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。 電子納品に当たっては、「鳥取市電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。

⑦（情報共有システム）

予定価格1,500万円以上の工事は、原則として情報共有システム（以下「システム」という。）を利用することとする。ただし、止むを得ない事情等によりシステムを利用できない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。

予定価格1,500万円未満の工事であっても、受注者がシステムの利用を希望する場合は、監督員と協議の上、システムを利用することができる。

システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑧（寒中コンクリート）

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

⑨（実施単価全面改定時の適用単価）

実施単価全面改定後に指名通知を行う工事は最新単価を適用することとしているが、本工事は旧単価において積算を行っているため、契約締結後には速やかに最新単価に基づく変更契約を行う。

⑩（建設機械の賃料の採用単価）

建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン、高所作業車及び橋梁点検車は、通常単価を採用し、その他の建設機械は長期割引単価を標準としている。

通常単価を採用した建設機械〔無し・有り（ラフテレーンクレーン（50t・70t））〕

⑪（現場環境改善）

~~【災害復旧工事以外】（※該当しない場合は削除）~~

~~本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。~~

~~下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつの合計4つの実施内容を実施すること。~~

~~実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。~~

~~地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。~~

~~1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。~~

~~また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。~~

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 昇降設備の充実、2. 環境対策の充実 3. ICT設備の充実、4. 作業負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の充実 3. 現場休憩所の充実（交通誘導員待機室含む） 4. 衛生設備・厚生施設の充実
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設の充実 2. 盗難防止対策 3. 健康関連施設の充実 4. 野生生物・害虫対策 5. （港湾・漁港工事のみ）防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）
地域連携	1. 広報活動等（完成予想図、工法説明、PR看板等） 2. 見学会・イベント等の開催（見学施設等設置・管理運営等含む） 3. 社会貢献・地域対策費等（地域行事等の経費含む） 4. 現場景観向上（美装化・デザイン看板等

【災害復旧工事】（※該当しない場合は削除）

現場環境改善費における主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用は、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

⑫（熱中症対策）

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。また、気象庁から高温注意報（最高気温 35℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

⑬（現場管理費補正）

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の対象工事と〔する・しない〕。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>（治山工事、林道工事の場合は<https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm>）に掲載の熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領に基づき、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。

計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。

⑭（日本芝生産地への配慮）

~~日本芝の生産に配慮した植生工について（令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知）（<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>）に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。~~

~~ア〔張芝工・筋芝工〕は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。~~

~~イ〔植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・砕面吹付工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。~~

~~ウ〔わら芝工・植生シート工・植生マット工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m2当り〇〇円を見込んでいる。~~

⑮（ICT 活用工事〔受注者希望型(LightICT を含む)〕）

本工事は、受注者希望型(LightICT を含む)の対象工事である。ICT の活用を希望する場合は、最新の「ICT 活用工事特記仕様書（受注者希望型）」によること。

仕様書の改定状況は <https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm> を参照すること。

⑯（現場代理人の兼務）

鳥取市発注工事等における現場代理人の常駐義務の緩和措置について（令和2年6月5日付総務部長通知）に基づき、本工事は現場代理人の兼務について可能と〔する・しない〕

兼務可能な工事については、以下の条件を全て満たす場合に認めることとする。

1. 対象

~~市発注工事及び業務（水道局が発注するものを除く。）のうち、以下の条件を全て満たすものについて、合計3件まで現場代理人の兼務を認める。~~

~~（1）請負代金額が1,500万円以上の工事等は、3件のうち1件以下であること。~~

~~（2）兼務の対象となる各工事等の請負代金額が、いずれも4,500万円（建築一式工事の場合は9,000万円）未満であること。~~

~~（3）兼務を行おうとする現場代理人が、他の工事等で建設業法（昭和24年法律第100号）第26条第3項の規定による専任を要する主任技術者又は監理技術者となっていないこと。~~

2. 手続き

~~現場代理人を兼務させようとする場合は、現場代理人兼務届（様式第1号）に兼務の対象となる各工事等の位置図及び工程表を添付し、各工事等の担当課（工事事務所）に提出する。~~

~~現場代理人の兼務状況に変更があった場合又は兼務を解除する場合（兼務の対象となっているいずれかの工事等が完成した時も含む。）は、現場代理人兼務状況変更届（様式第2号）を各工事等の担当課（工事事務所）に提出する。~~

⑰（土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事）

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm> に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

⑱（工事書類）

完成検査時に必要な工事書類については、最新の「土木工事書類作成の手引き」を参考にすること。

<https://www.city.tottori.lg.jp/page/5579.html>

⑲（評定対象外工事）

本工事は、建設工事成績評定要領第2条第1項各号のいずれかに該当する評定対象外工事であり、検査成績の工事成績評定の対象外（合否判定）とする。なお、完成検査時に必要な工事書類については、「土木工事書類簡素化マニュアル」を参考にすること。

<https://www.city.tottori.lg.jp/page/5583.html>

②①（掲示板の設置）

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事（5か年加速化対策）」と表記すること。標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について（令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室長 事務連絡）を参考にすること。

②②（遠隔臨場）

本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、最新の「鳥取市建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する試行要領」によること。

<https://www.city.tottori.lg.jp/site/nyusastu-keiyaku/1683.html>

②③（快適トイレの試行）

1. 内容

受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- (1) 洋式便器
- (2) 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- (3) 臭い逆流防止機能
- (4) 容易に開かない施錠機能
- (5) 照明設備
- (6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

- (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- (9) サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）
- (10) 鏡と手洗器
- (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- (12) 室内寸法900×900mm 以上（面積ではない）
- (13) 擬音装置（機能を含む）
- (14) 着替え台
- (15) 臭気対策機能の多重化
- (16) 室内温度の調整が可能な設備
- (17) 小物置き場（トイレトーパーパー予備置き場等）

2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事、港湾工事、漁港工事以外】（※該当しない場合は削除）

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設置基数は現場毎に必要性を協議の上決定すること。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事】（※該当しない場合は削除）

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設置基数は現場毎に必要性を協議の上決定すること。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

2. 快適トイレに要する費用【港湾工事、漁港工事】（※該当しない場合は削除）

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事（施工箇所）※1までを原則とするが、監督職員と協議により必要と認められる場合は、増設できるものとする。

また、運搬・設置・撤去費は共通仮設費（率）に含むものとし、2基/工事（施工箇所）※1より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わないものとする。

ただし、海上運搬を伴う運搬・設置・撤去費用については、別途共通仮設費に積上げ計上※2 するものとする。

※1 施工箇所が点在する工事など、トイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所ですべて計上できるものとする。

※2 快適トイレの海上運搬費用については、1回あたり当該工事で使用する作業船供用燃料0.5 日分の費用を計上するものとする。なお、他の資材と混在して運搬する際には、快適トイレ個別での運搬費用は計上しない。

3. その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督員と協議の上、試行の対象外とする。

㊤ (大型コンクリートブロック積擁壁)

大型ブロック及び基礎コンクリートは〇〇〇〇〇〇 (製品名を記載) (以下「想定製品」という。)同等以上の品質を有すること。なお、想定製品以外の製品を使用する場合は、その製品に合わせた構造図、展開図等の作成及び擁壁高が8.0mを超える場合は地震時の安定性の検討を行い、事前に監督員の承諾を得ること。このことについては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/294903.htm>に掲載の「大型ブロック積擁壁の設計及び積算の取り扱い」を参考にすること。

㊤ (下請契約等)

下請契約を締結する場合は、最新の鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針 (<https://www.pref.tottori.lg.jp/211686.htm>) に基づき、適正な下請契約とすること。
また、適切な賃金水準の確保と社会保険等への加入の徹底に努めること。
(<https://www.pref.tottori.lg.jp/item/873746.htm#itemid873746> 参照)

㊤ (中東情勢の変化に伴う建設資材の設計変更)

本工事は、供給の偏りや流通の日詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材 (以下「調達検討資材」という。) の調達に必要な経費について設計変更の対象工事である。
設計変更を希望する場合は、調達公告時点で最新の中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更要領 (<https://www.pref.tottori.lg.jp/117322.htm>) に基づき、監督員と協議すること。
本工事における調達検討資材は下表を想定している。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議すること。

調達検討資材

資材名	規格	設計数量	単価適用年月
塩化ビニル管	φ〇〇mm	〇〇m	R〇. 〇
塗料用シンナー	〇〇用シンナー	〇〇L	R〇. 〇

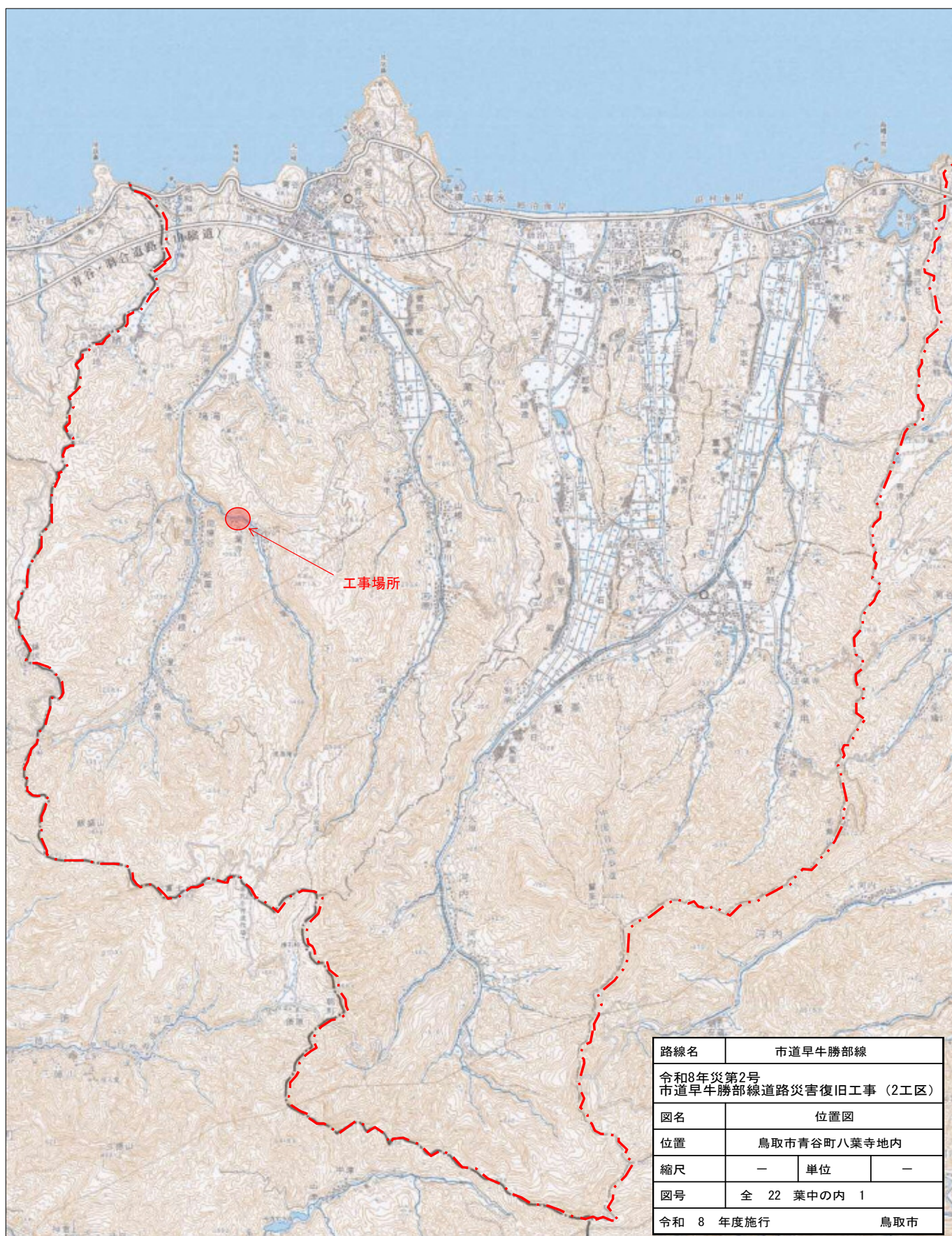
※工事内容に応じて調達検討資材を記載すること

そ
の
他

図号22葉中の内2～22については

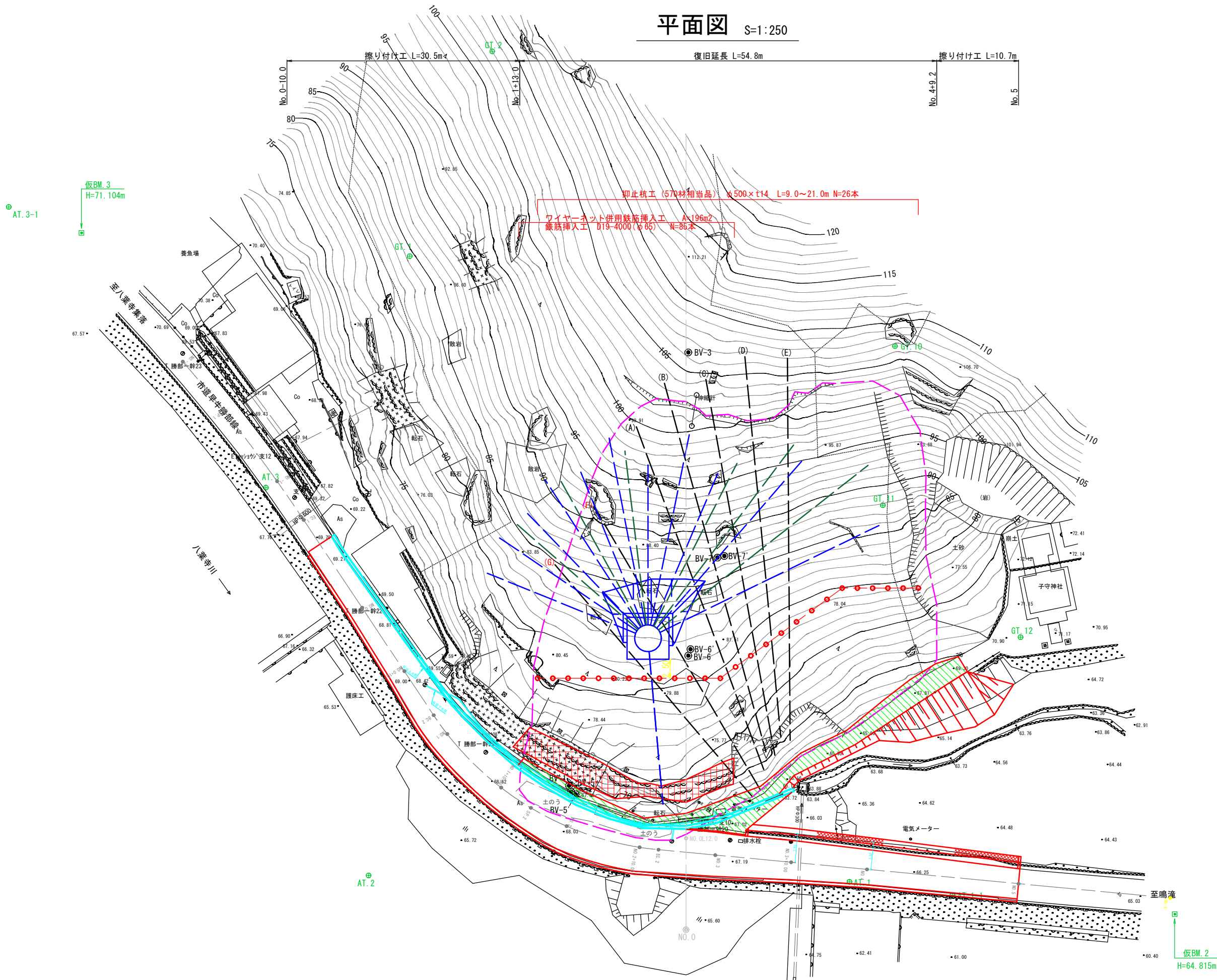
A1図面をA3に縮小している。

令和8年災第2号市道早牛勝部線道路災害復旧工事(2工区)



路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	位置図		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	—	単位	—
図号	全 22 葉中の内 1		
令和 8 年度施行		鳥取市	

平面図 S=1:250

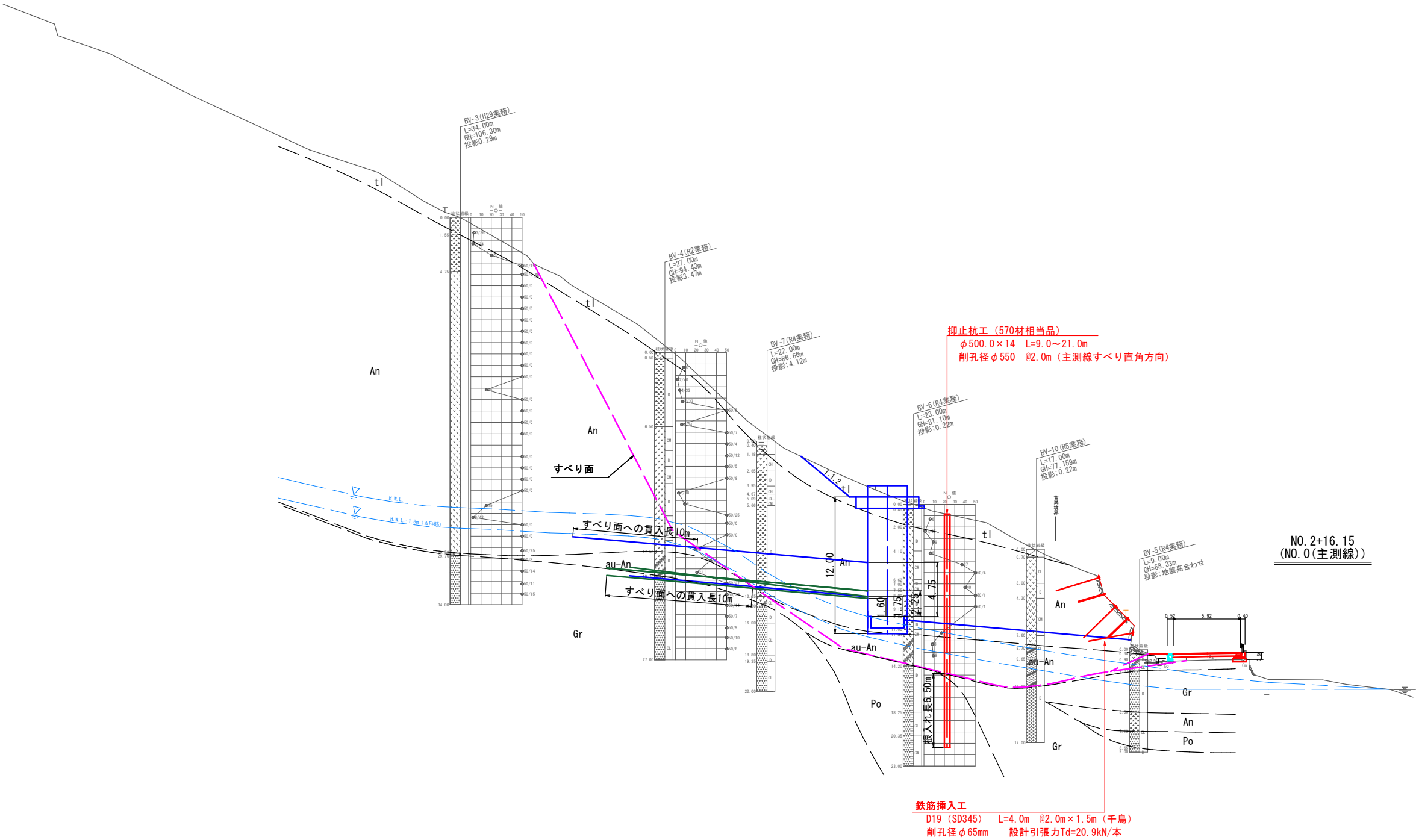


路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	平面図		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1：250	単位	M
図号	全 22 葉中の内 2		
令和 8 年度施行	鳥取市		

標準断面図 S=1:200

安全率推移

地 形 : 現況地形	地 形 : 現況地形 (集水井工)	地 形 : 集水井工+縦断変更	地 形 : 集水井工+縦断変更+抑止杭工
地下水位 : HWL	地下水位 : HWL-1.8m	(盛土高0.6m)	地下水位 : 最高水位-1.8m
現況安全率 : $F_s=0.95$	現況安全率 : $F_s=1.00$ ($\Delta F_s 5\%$ 上昇)	地下水位 : 最高水位-1.8m	現況安全率 : $F_s=1.12$
必要抑止力 : $Pr=894.9\text{kN/m}$	必要抑止力 : $Pr=630.4\text{kN/m}$	現況安全率 : $F_s=1.005$ (受働破壊 : $F_s=1.010$)	必要抑止力 : $Pr=0.0\text{kN/m}$
		必要抑止力 : $Pr=603.5\text{kN/m}$ (受働破壊 : 571.2kN/m)	

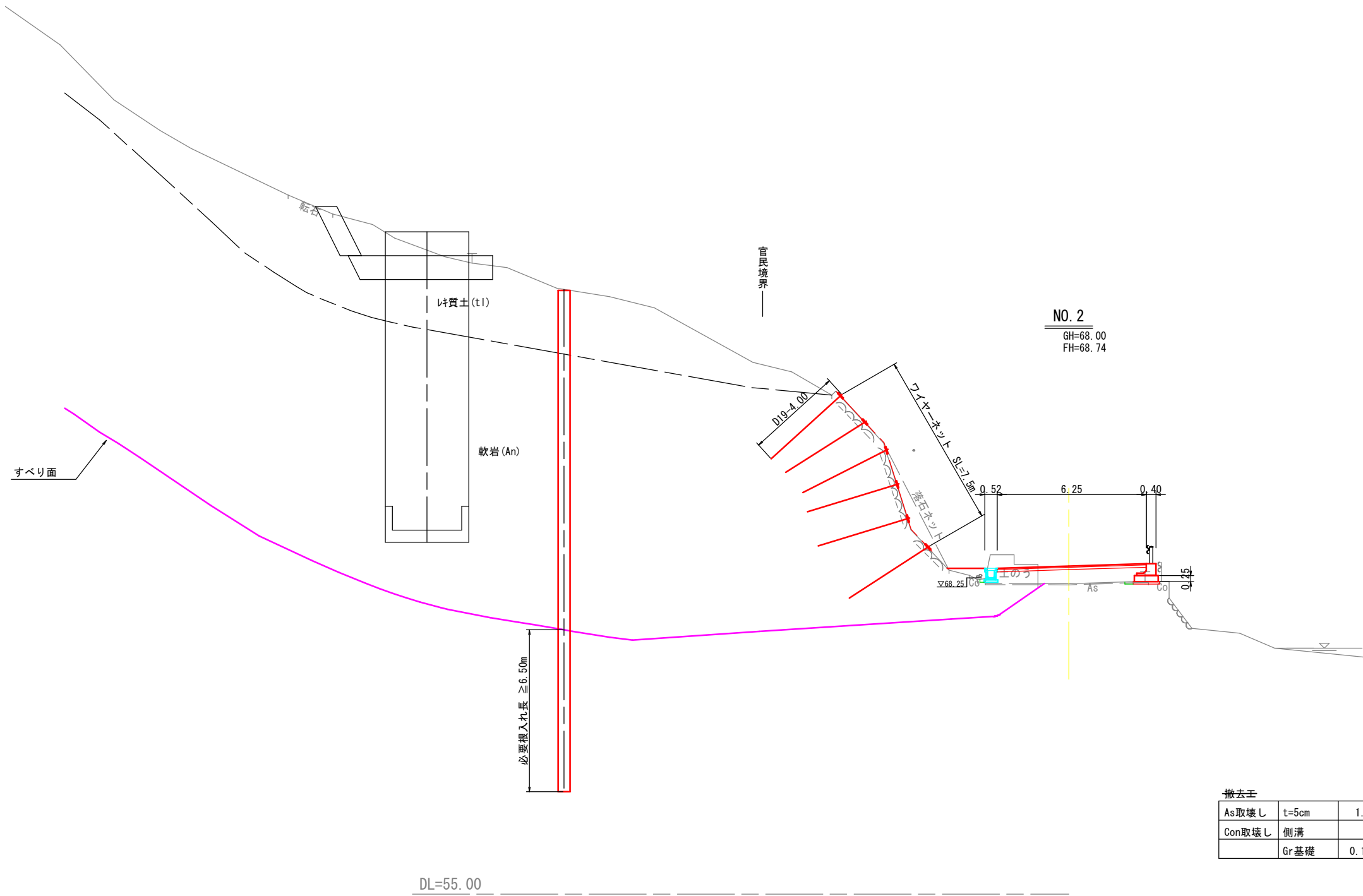


DL=50.00

路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事 (2工区)			
図名	標準断面図		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1 : 200	単位	M
図号	全 22	葉中の内	3
令和 8 年度施行	鳥取市		



路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	横断図(1)		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1：100	単位	M
図号	全 22 葉中の内 4		
令和 8 年度施行			鳥取市



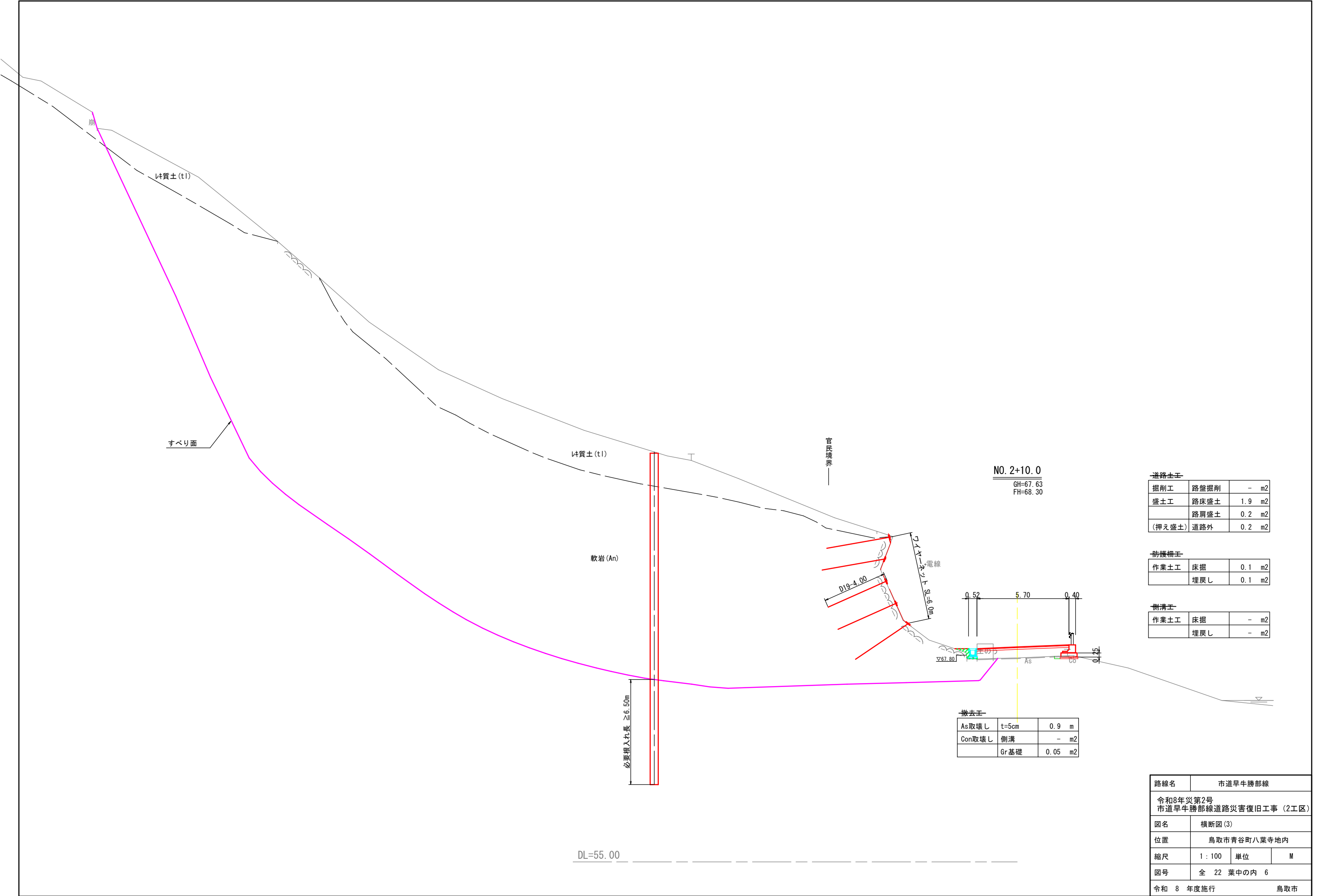
道路土工		
掘削工	路盤掘削	- m2
盛土工	路床盛土	2.4 m2
	路肩盛土	0.4 m2
	道路外	- m2

防護柵工		
作業土工	床掘	0.1 m2
	埋戻し	0.1 m2

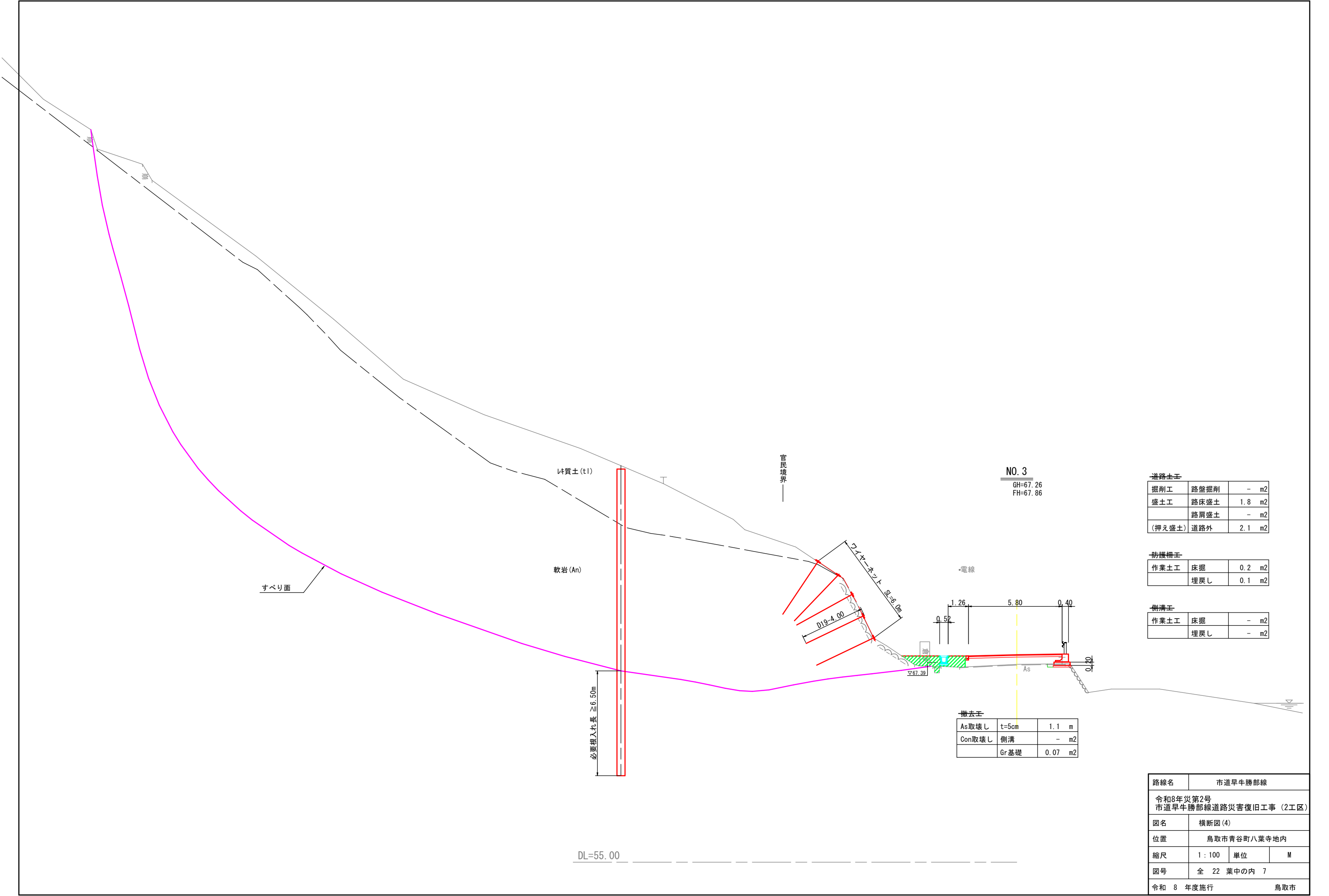
側溝工		
作業土工	床掘	- m2
	埋戻し	- m2

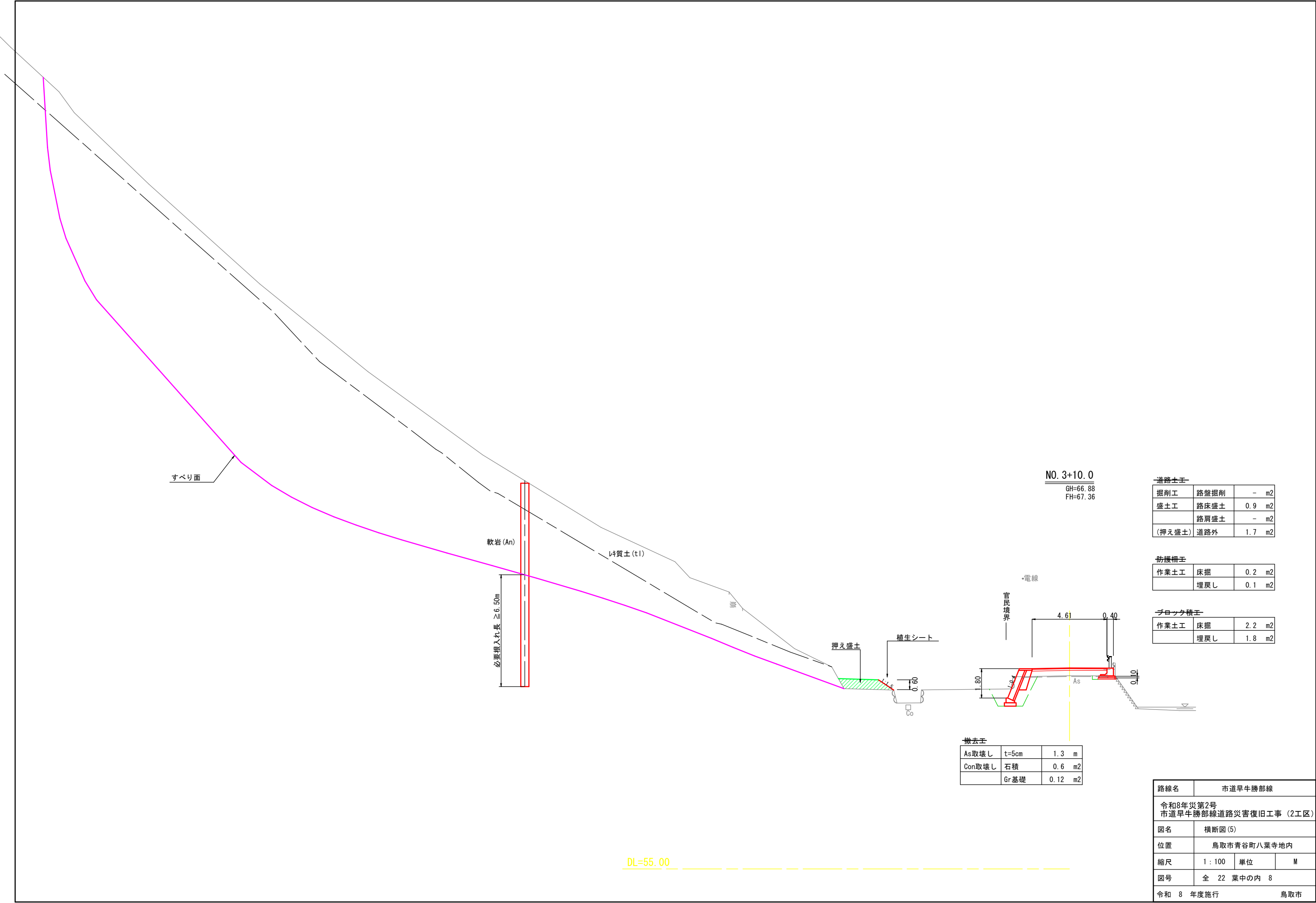
撤去工		
As取壊し	t=5cm	1.0 m
Con取壊し	側溝	- m2
	Gr基礎	0.10 m2

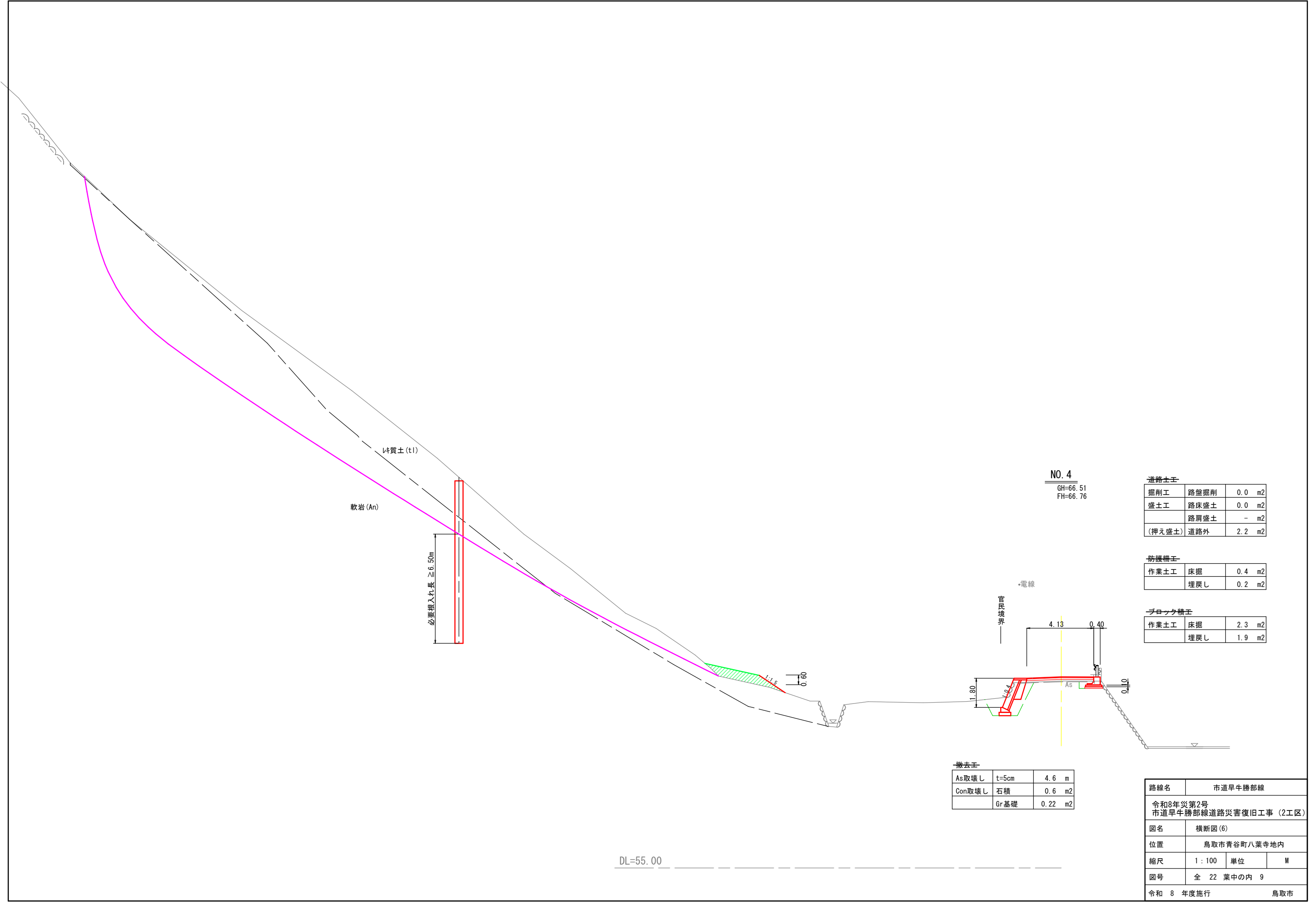
路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	横断面図(2)		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1：100	単位	M
図号	全 22 葉中の内 5		
令和 8 年度施行	鳥取市		



路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	横断図(3)		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1：100	単位	M
図号	全 22 葉中の内 6		
令和 8 年度施行	鳥取市		







NO. 4
GH=66.51
FH=66.76

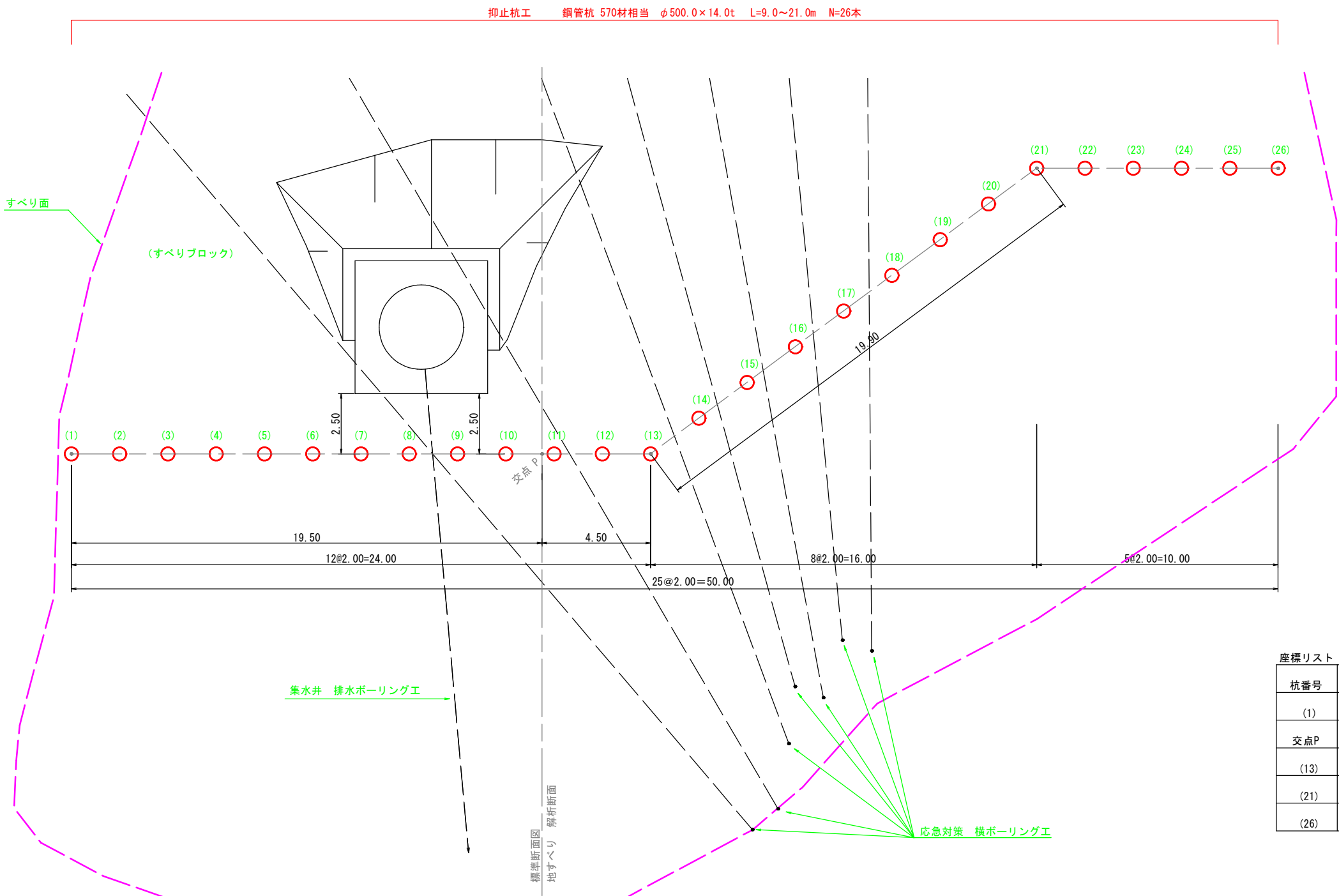
道路土工		
掘削工	路盤掘削	0.0 m2
盛土工	路床盛土	0.0 m2
	路肩盛土	- m2
(押え盛土)	道路外	2.2 m2

防護柵工		
作業土工	床掘	0.4 m2
	埋戻し	0.2 m2

ブロック積工		
作業土工	床掘	2.3 m2
	埋戻し	1.9 m2

撤去工		
As取壊し	t=5cm	4.6 m
Con取壊し	石積	0.6 m2
	Gr基礎	0.22 m2

路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	横断面図(6)		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1：100	単位	M
図号	全 22 葉中の内 9		
令和 8 年度施行	鳥取市		



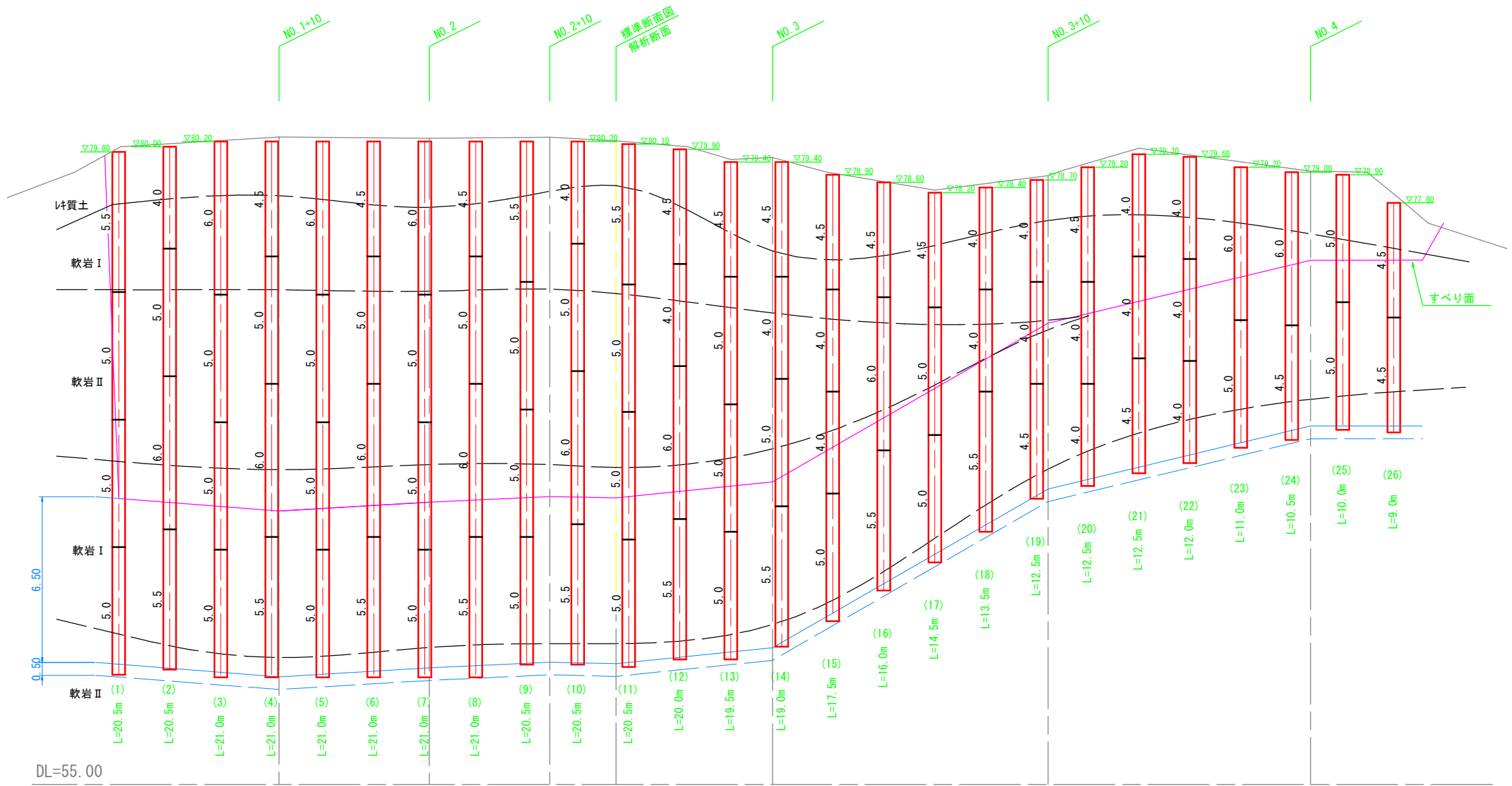
座標リスト

杭番号	X座標	Y座標	点間距離
(1)	71.839	973.827	
交点P	91.337	973.569	19.50
(13)	95.836	973.509	4.50
(21)	111.678	961.466	19.90
(26)	121.677	961.333	10.00

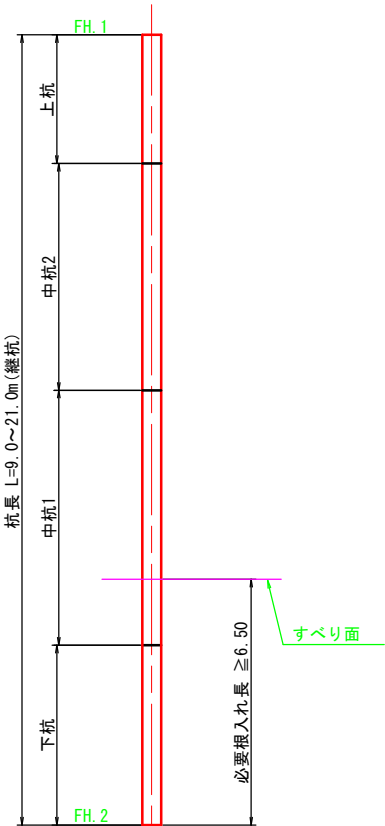
路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	杭工配置図		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1 : 100	単位	M
図号	全 22 葉中の内 10		
令和 8 年度施行	鳥取市		

杭工展開図 S=1:100

鋼管杭 570材 $\phi 500.0 \times 14.0t$ $L=9.0 \sim 21.0m$ $N=26$ 本
@2.00m 削孔径 $\phi 550$



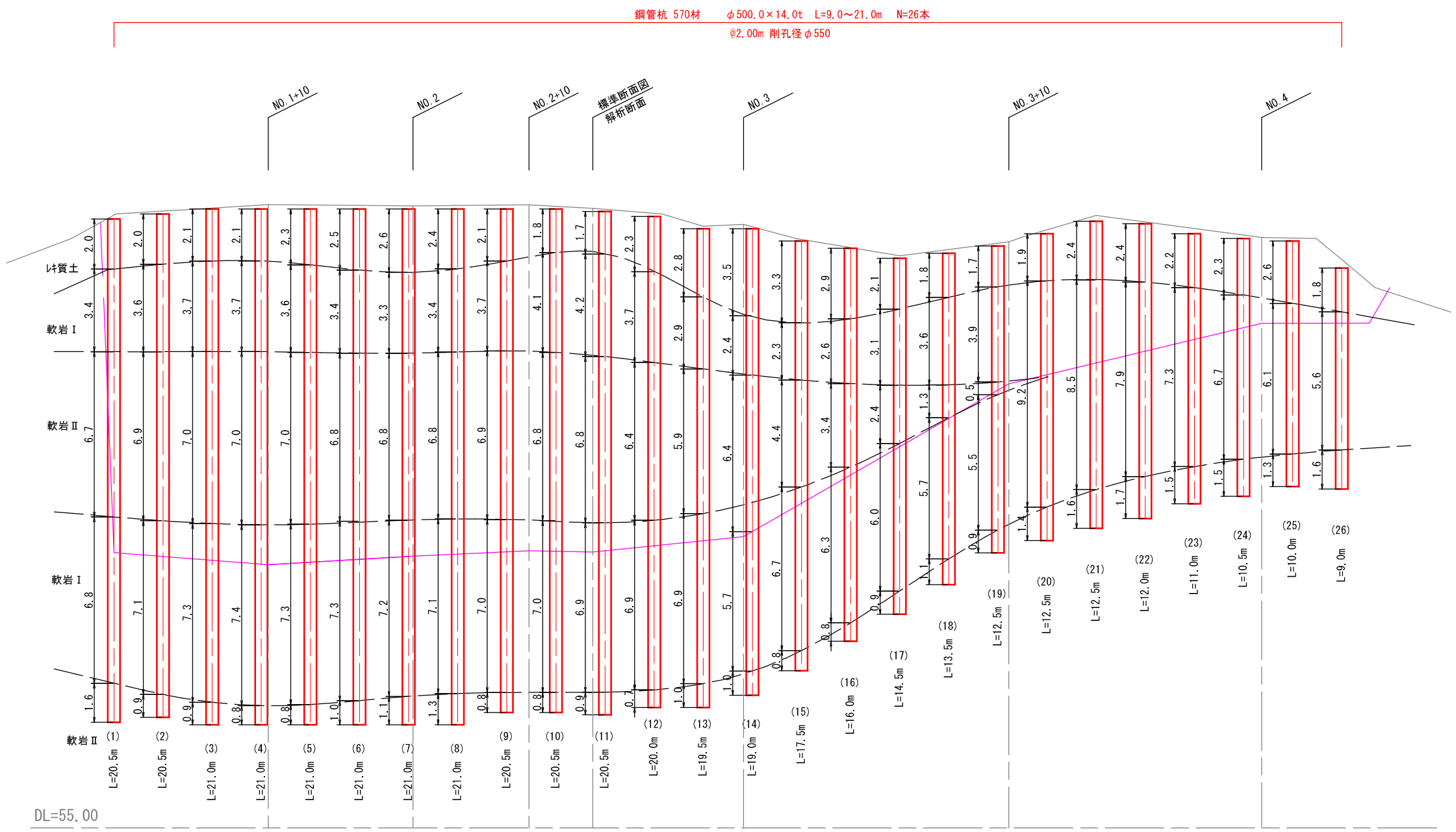
〔継杭断面図〕



杭工数量表

杭番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	計
計画高	FH.1	79.80	80.00	80.20	80.20	80.20	80.20	80.20	80.20	80.20	80.20	80.10	79.90	79.40	79.40	78.90	78.60	78.20	78.40	78.70	79.20	79.70	79.60	79.20	79.00	78.90	77.80	FH.1
	FH.2	59.30	59.50	59.20	59.20	59.20	59.20	59.20	59.20	59.70	59.70	59.60	59.90	59.90	60.40	61.40	62.60	63.70	64.90	66.20	66.70	67.20	67.60	68.20	68.50	68.90	68.80	FH.2
杭長	全長	20.5	20.5	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	20.5	20.5	20.5	20.0	19.5	19.0	17.5	16.0	14.5	13.5	12.5	12.5	12.5	12.0	11.0	10.5	10.0	9.0	438.5
	上杭	5.5	4.0	6.0	4.5	6.0	4.5	6.0	4.5	5.5	4.0	5.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.0	4.0	4.5	4.0	4.0	6.0	6.0	5.0	4.5	125.0
	中杭2	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.0	5.0	4.0	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72.0
	中杭1	5.0	6.0	5.0	6.0	5.0	6.0	5.0	6.0	5.0	6.0	5.0	6.0	5.0	5.0	4.0	6.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	-	-	-	-	111.0
	下杭	5.0	5.5	5.0	5.5	5.0	5.5	5.0	5.5	5.0	5.5	5.0	5.5	5.0	5.5	5.0	5.5	5.0	5.5	4.5	4.0	4.5	4.0	5.0	4.5	5.0	4.5	130.5
(m) 継手(箇所)		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	63

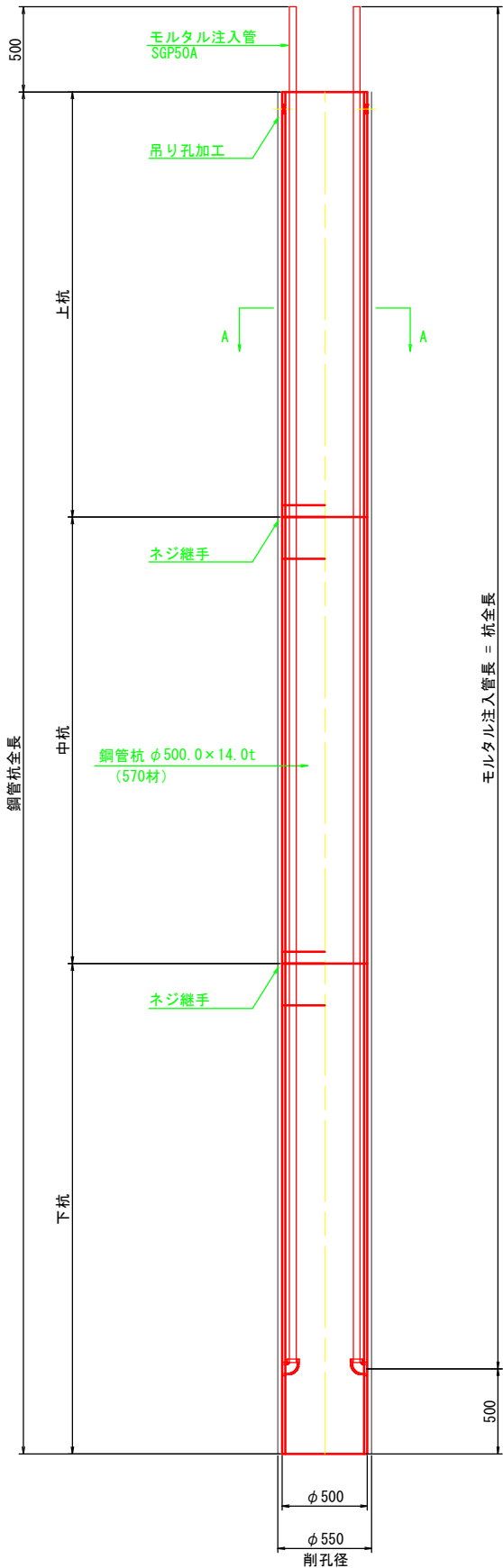
路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	杭工展開図		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1 : 100	単位	M
図号	全 22 葉中の内 11		
令和 8 年度施行	鳥取市		



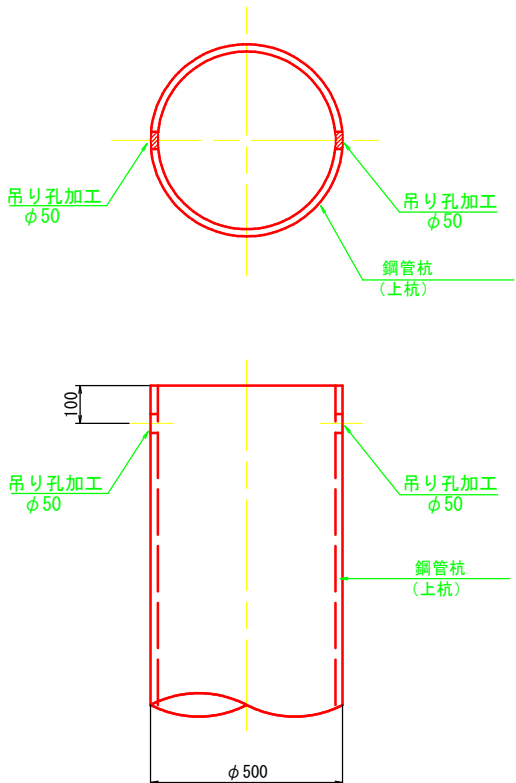
路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	杭工削孔展開図		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1 : 100	単位	M
図号	全 22 葉中の内 12		
令和 8 年度施行	鳥取市		

【 鋼管杭 (570材 D500×14.0t) 】

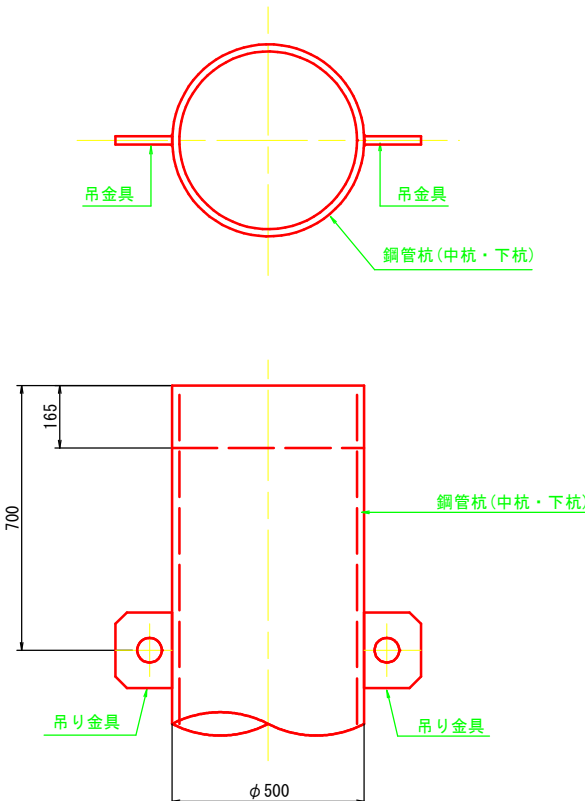
標準断面図
S=1:40



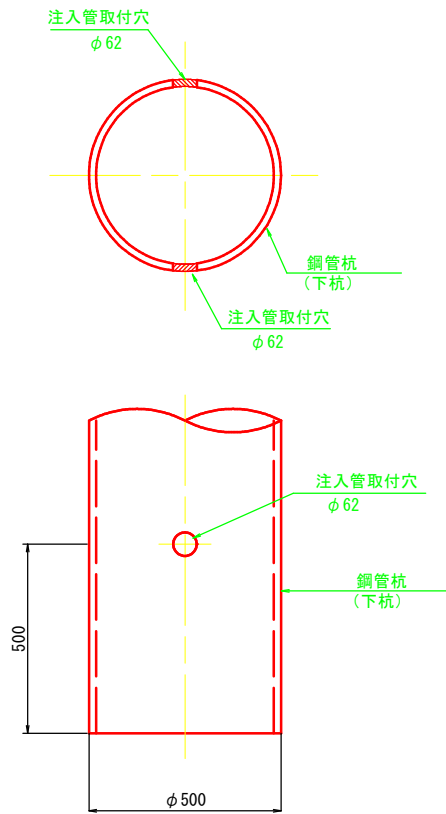
吊 孔 加 工 図
S=1:20



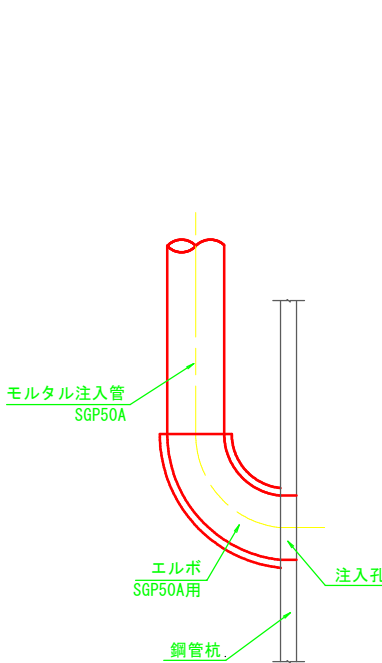
吊 金 具 取 付 図
S=1:20



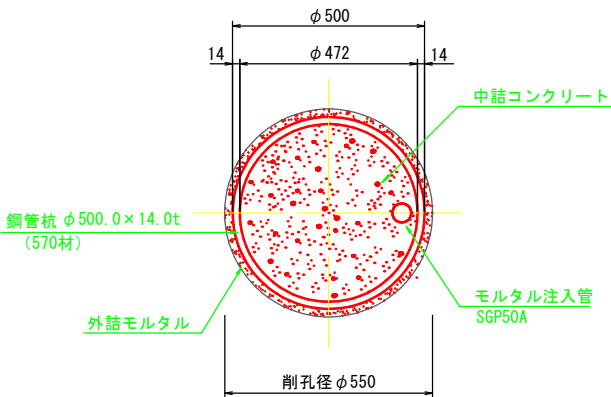
注 入 孔 加 工 図
S=1:20



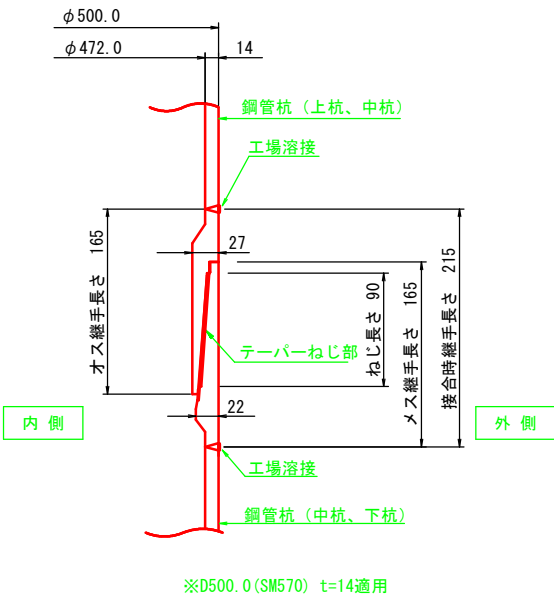
モルタル注入管取付詳細図 (参考)
S=1:6



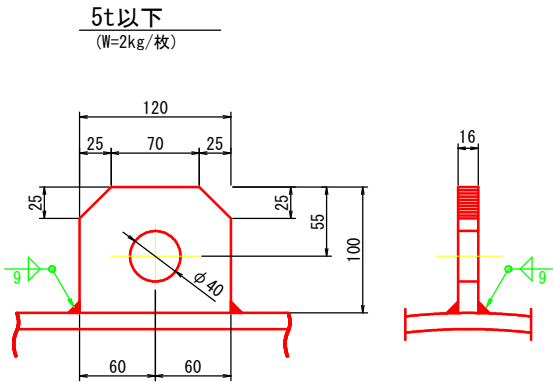
A-A 断面図
S=1:20



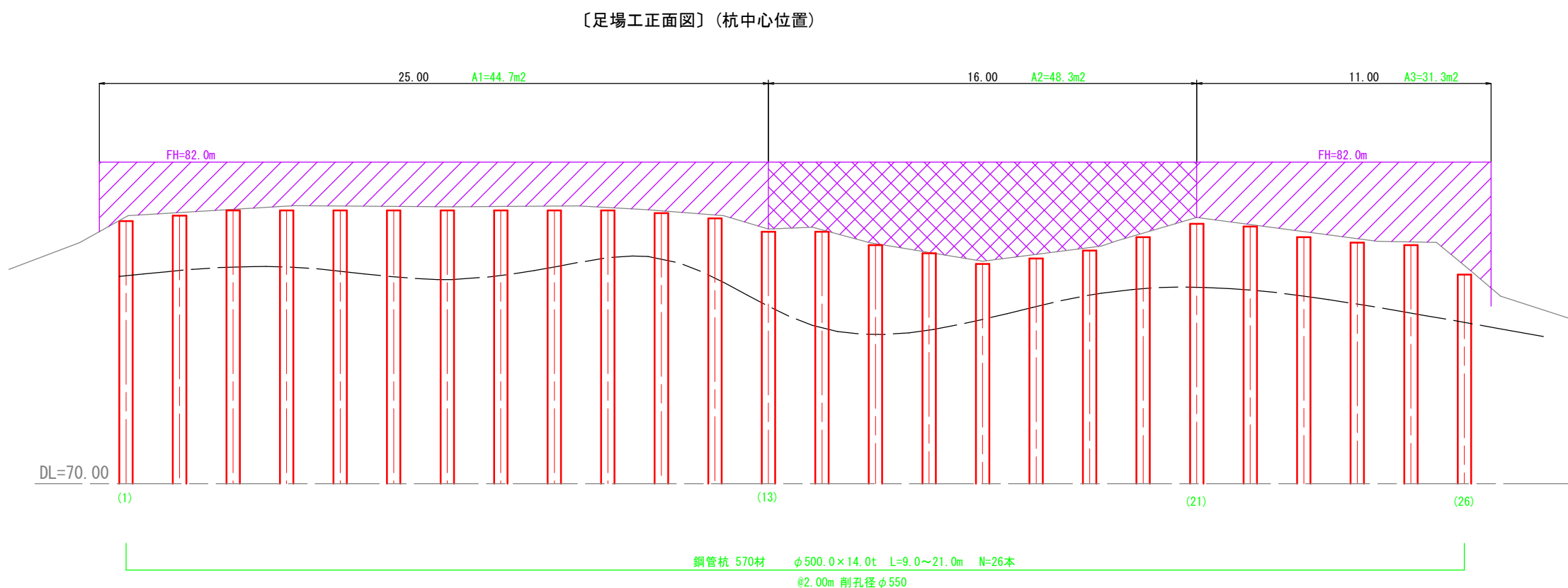
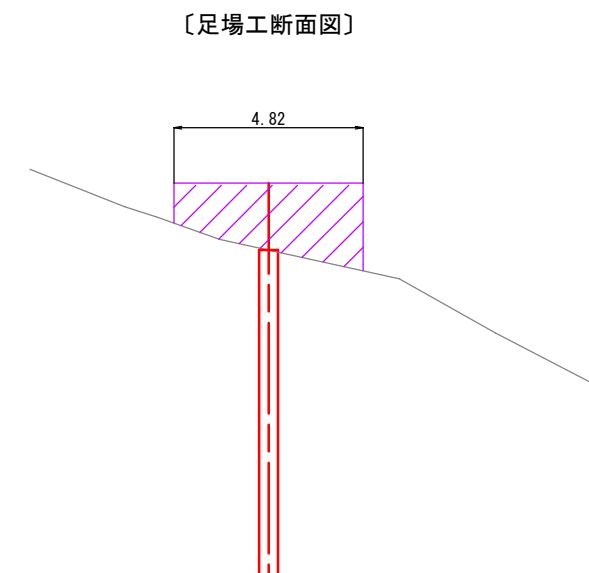
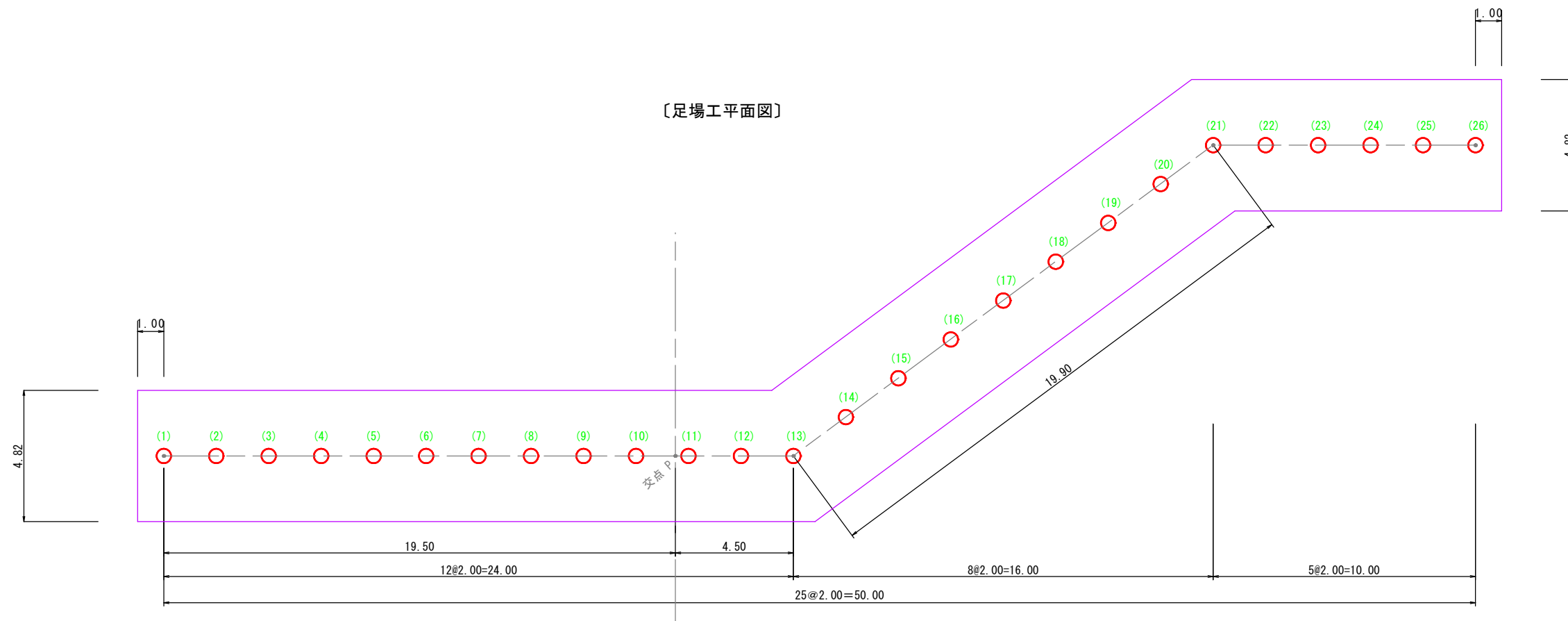
ネジ継手部詳細図



吊 金 具 形 状 図
S=1:3

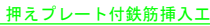


路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事 (2工区)			
図名	杭工構造図 (参考図)		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1 : 20	単位	mm
図号	全 22	葉中の内	13
令和 8 年度施行	鳥取市		



路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	杭工足場展開図（参考図）		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1：100	単位	M
図号	全 22 葉中の内 14		
令和 8 年度施行		鳥取市	

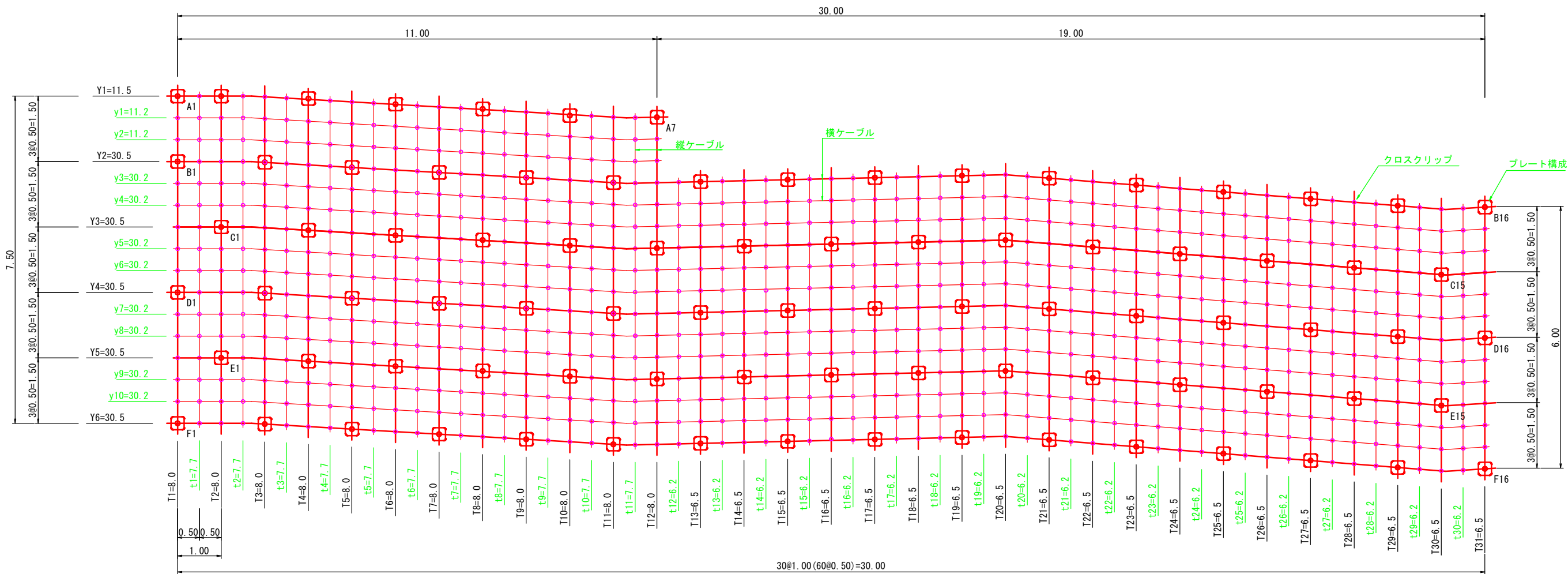
〔対象斜面〕 $A=11.0 \times 7.5+19.0 \times 6.0=196.5\text{m}^2$



路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	ワイヤーネット併用 鉄筋挿入工展開図（I）		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1：50	単位	M
図号	全 22 葉中の内 15		
令和 8 年度施行			鳥取市

〔頭部連結ロープ展開図〕

金網 2.6φ×50×50(垂鉛メッキ) A=196.5m²
(※ロープ背面に併用して金網を設置する)



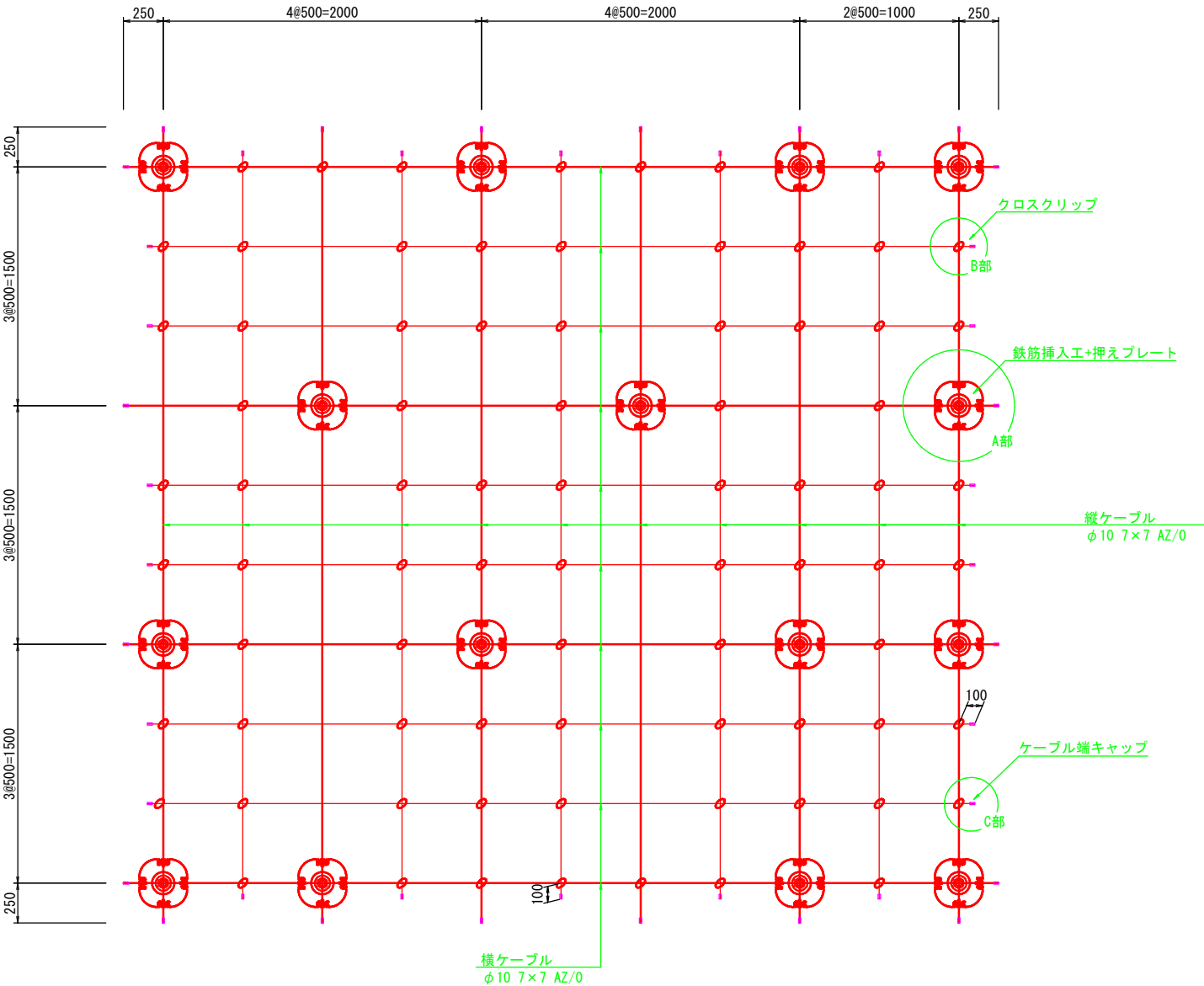
縦ケーブル	φ10 7×7 AZ/0		
番号	ケーブル長	本数	総ケーブル長
T1 ~ T12	8.0	12	96.0
T13 ~ T31	6.5	19	123.5
t1 ~ t11	7.7	11	84.7
t12 ~ t30	6.2	19	117.8
合計		61 本	422.0 m

横ケーブル	φ10 7×7 AZ/0		
番号	ケーブル長	プレート構成	クロスクリップ
Y1	11.5	7 組	16 個
y1	11.2	- 組	23 個
y2	11.2	- 組	23 個
Y2	30.5	16 組	45 個
y3	30.2	- 組	61 個
y4	30.2	- 組	61 個
Y3	30.5	15 組	46 個
y5	30.2	- 組	61 個
y6	30.2	- 組	61 個
Y4	30.5	16 組	45 個
y7	30.2	- 組	61 個
y8	30.2	- 組	61 個
Y5	30.5	15 組	46 個
y9	30.2	- 組	61 個
y10	30.2	- 組	61 個
Y6	30.5	16 組	45 個
合計	428.0 m	85 組	777 個

(n= 16 本)

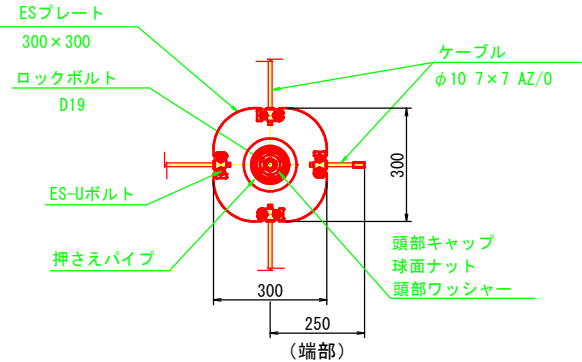
路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	ワイヤーネット併用 鉄筋挿入工展開図(2)		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1：50	単位	M
図号	全 22 葉中の内 16		
令和 8 年度施行	鳥取市		

〔標準展開図〕 S=1:20



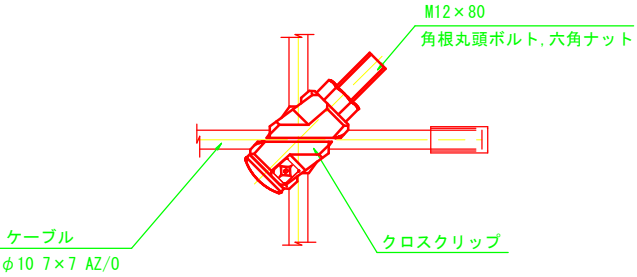
〔A部詳細図〕 S=1:10

鉄筋挿入工+押えプレート



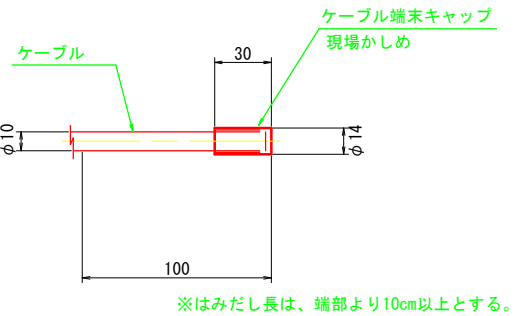
〔B部詳細図〕 S=1:2

クロスクリップ

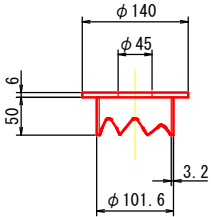


〔C部詳細図〕 S=1:2

ケーブル端末キャップ



〔押えパイプ詳細図〕 S=1:5



部材表			
符 号	品 名	寸法・規格	備 考
———	縦ケーブル	φ10 7×7 AZ/0	表面処理：亜鉛アルミ合金めっき
———	横ケーブル	φ10 7×7 AZ/0	表面処理：亜鉛アルミ合金めっき
	鉄筋挿入工(補強材)	D19 L=4000	
	カブラー	D19用	鉄筋挿入工部材
	ESプレート	300×300 t=9mm	
	押さえパイプ	t6 φ140 φ101.6×3.2×50	
	ES-Uボルト	M12	
	頭部キャップ		アルミニウム合金鋳物(防錆油入)
	球面ナット	D19用	
	頭部ワッシャー		
	ゴムシース	D19用	表面処理：なし
	スペーサー	D19-65	表面処理：電気めっき
	クロスクリップ		
	ケーブル端末キャップ	φ14	アルミニウム合金押出型材

〔注 記〕

1. 特に表記無き部材の表面処理は、溶融亜鉛めっきとする。

〔部材数量について〕

部材数量は下記のロス率を考慮すること。

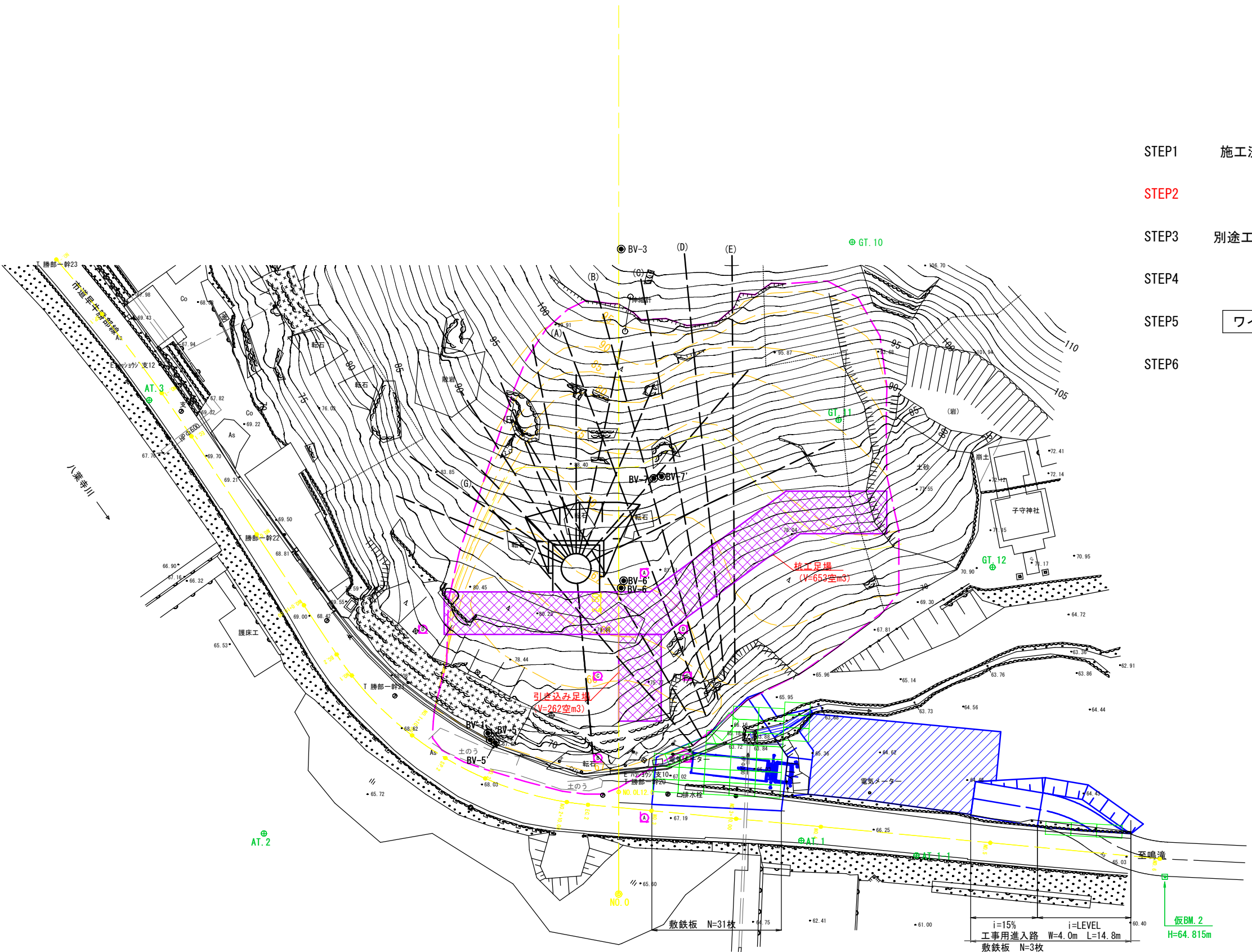
・ケーブル：5%

路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	ワイヤーネット併用 鉄筋挿入工詳細図（参考図）		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 22 葉中の内 17		
令和 8 年度施行			鳥取市

仮設計画図(1)

S:1:250

(足場仮設)

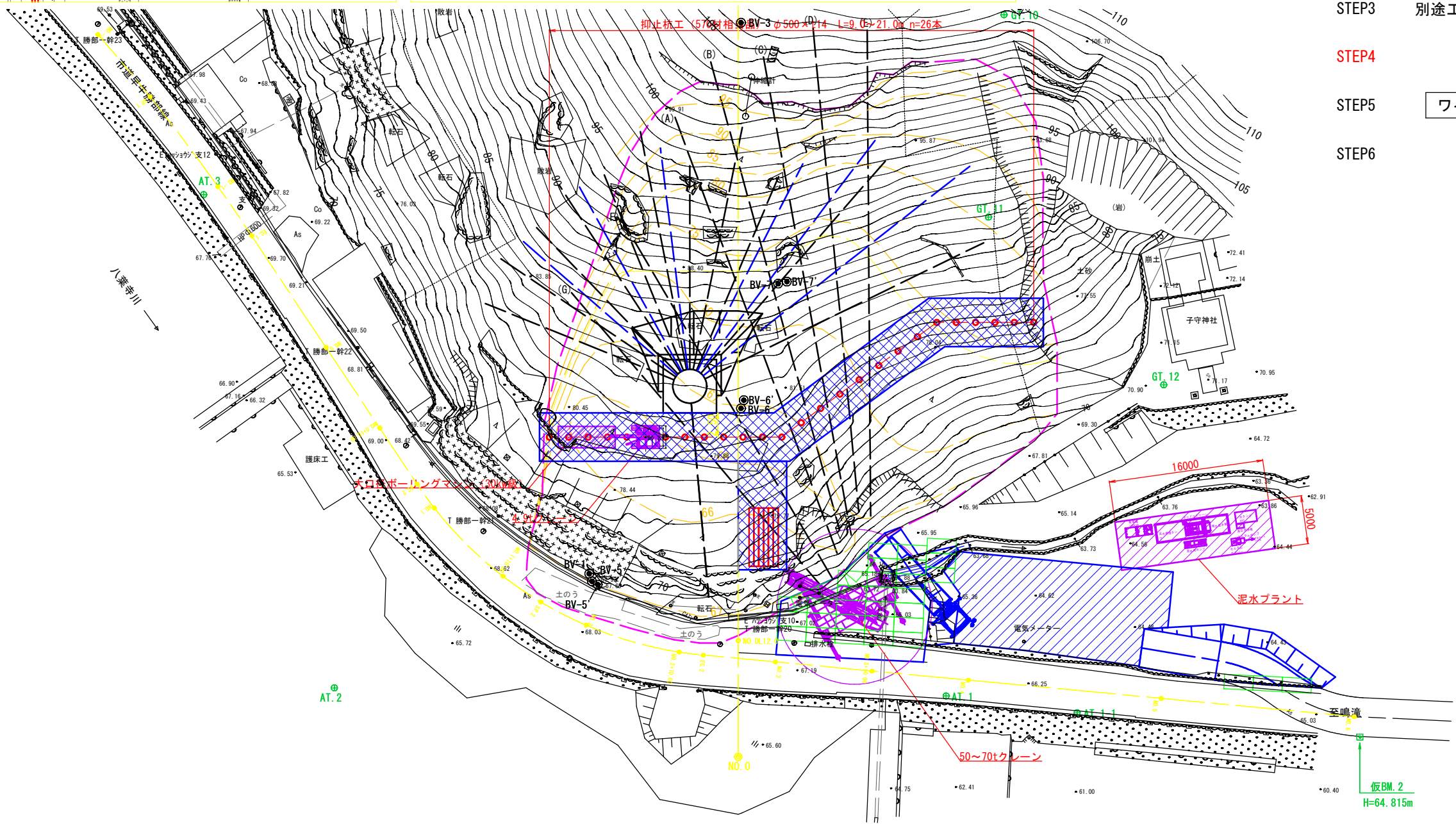
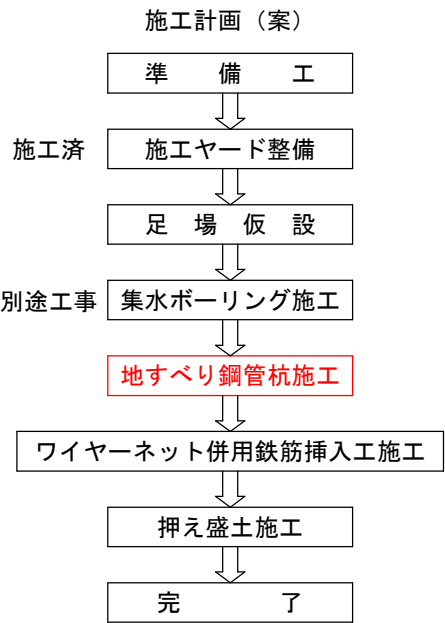
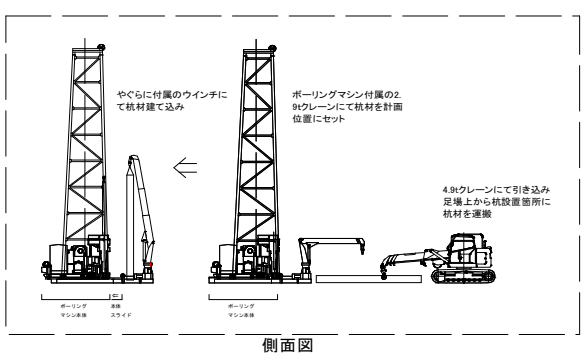
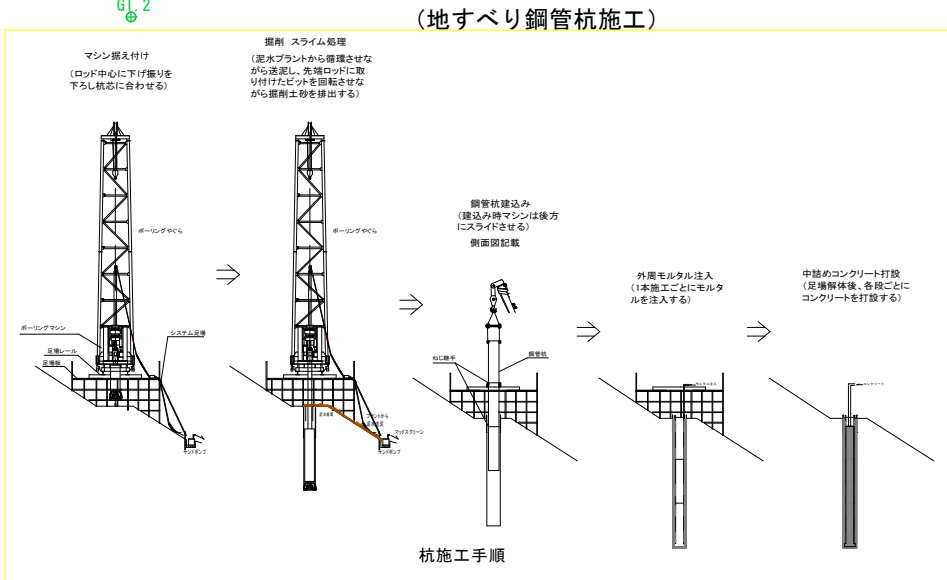
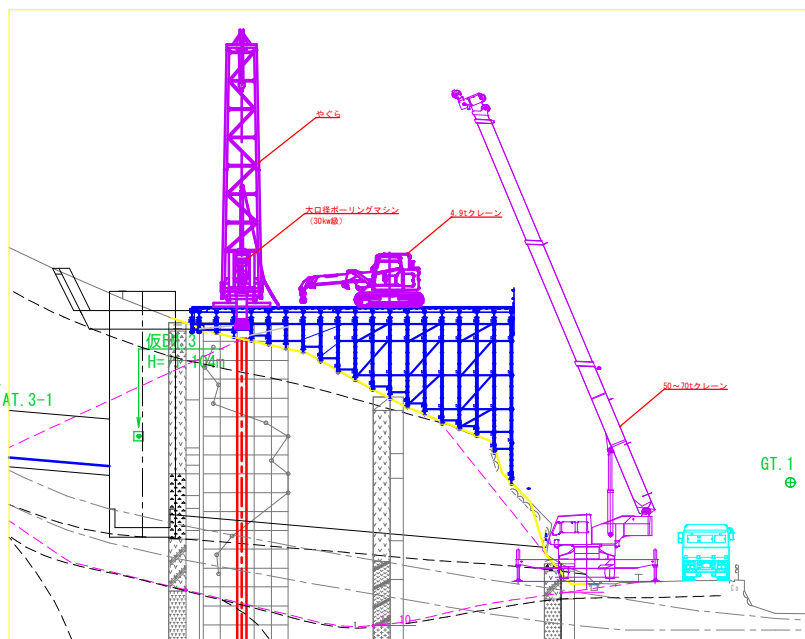


路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	仮設計画図(1)（参考図）		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1：250	単位	M
図号	全 22 葉中の内 18		
令和 8 年度施行	鳥取市		

仮設計画図(2)

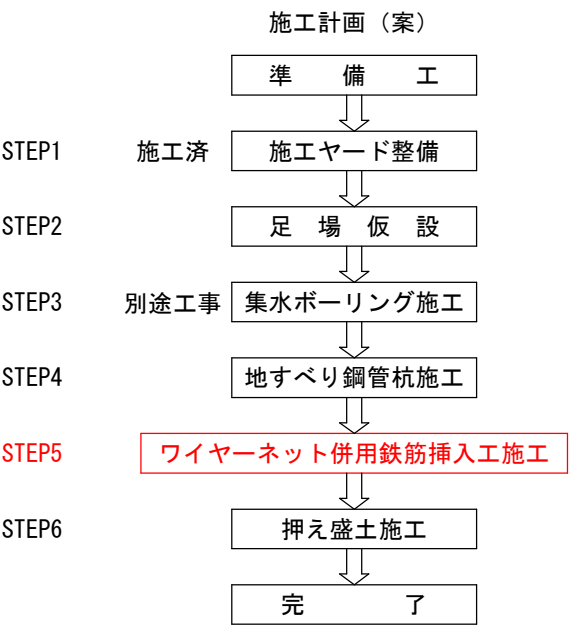
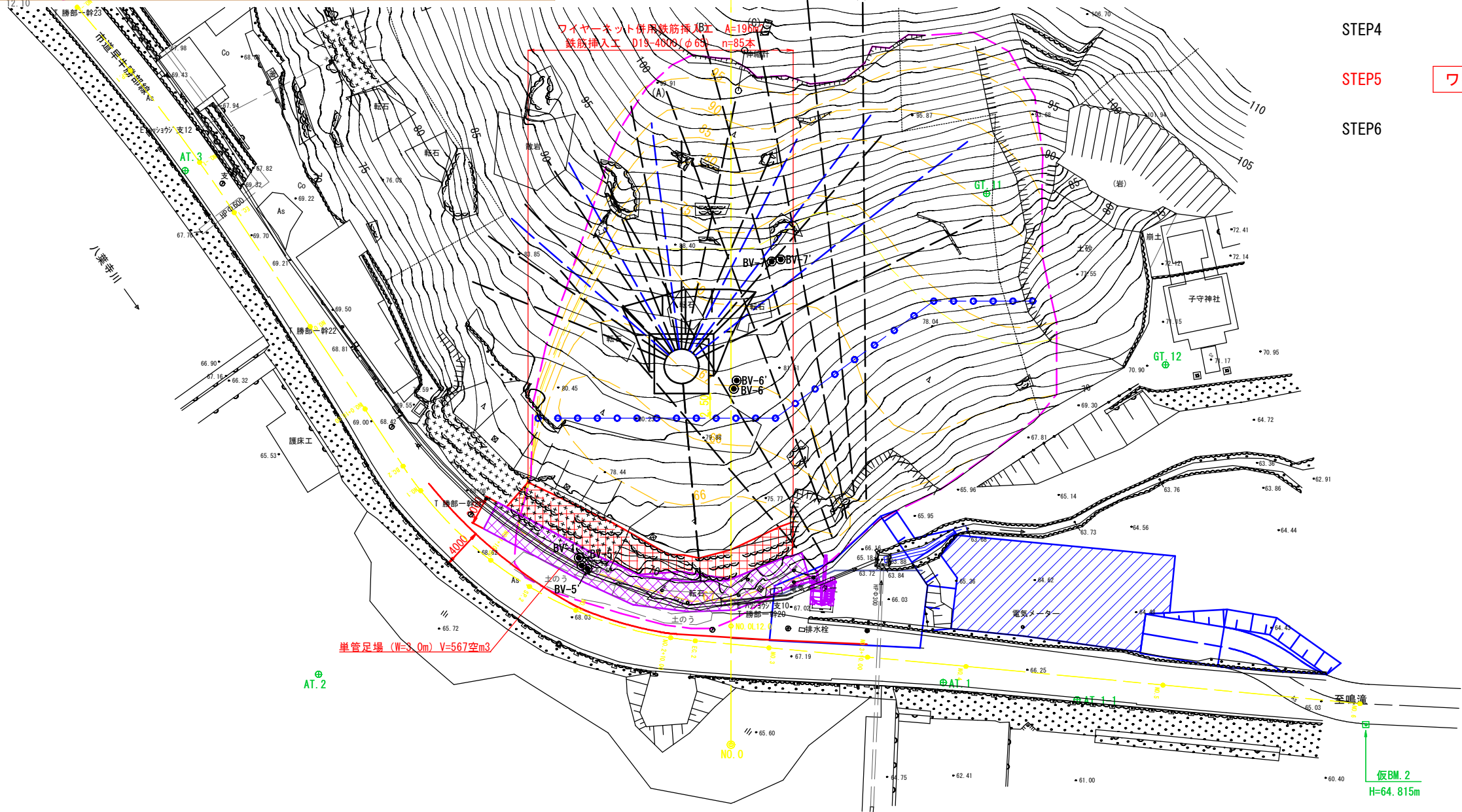
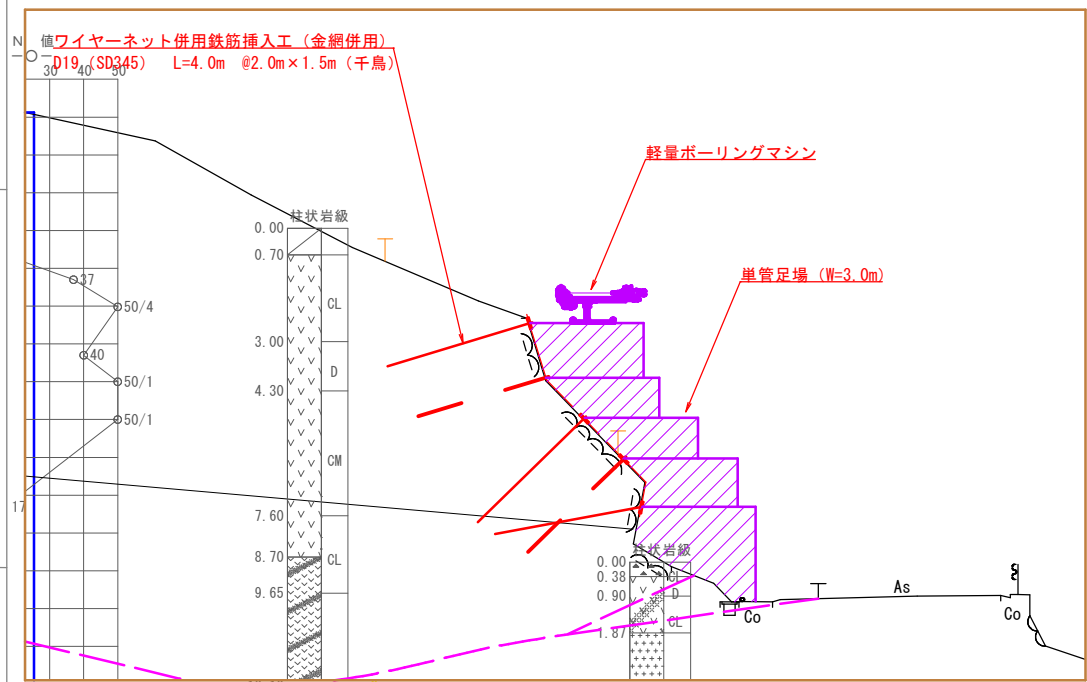
S:1:250

(地すべり鋼管杭施工)



路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	仮設計画図（2）（参考図）		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1：250	単位	m
図号	全 22 葉中の内 19		
令和 8 年度施行	鳥取市		

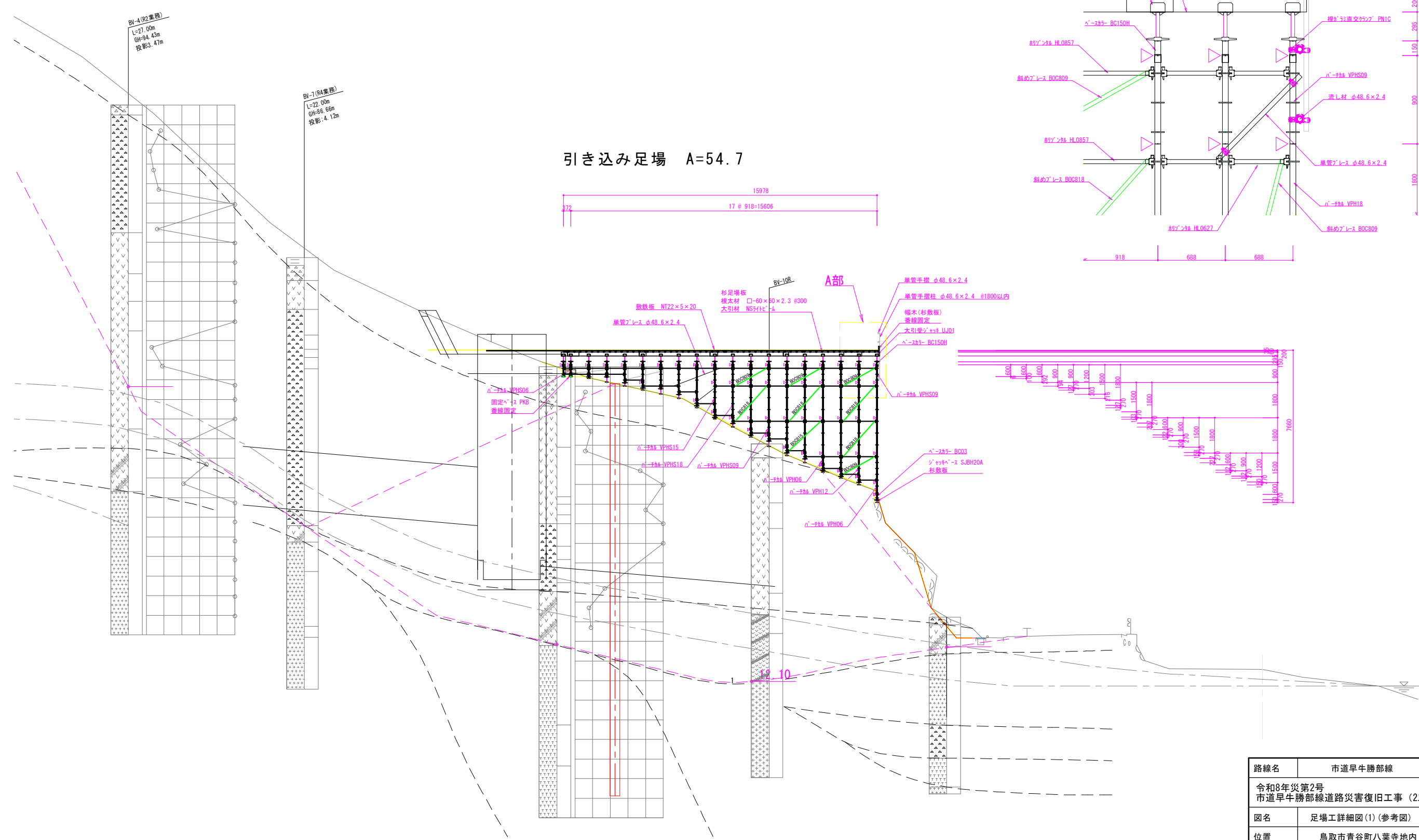
仮設計画図(3) S=1:250
(ワイヤーネット併用鉄筋挿入工施工)



路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	仮設計画図（3）（参考図）		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	1：250	単位	M
図号	全 22 葉中の内 20		
令和 8 年度施行			鳥取市

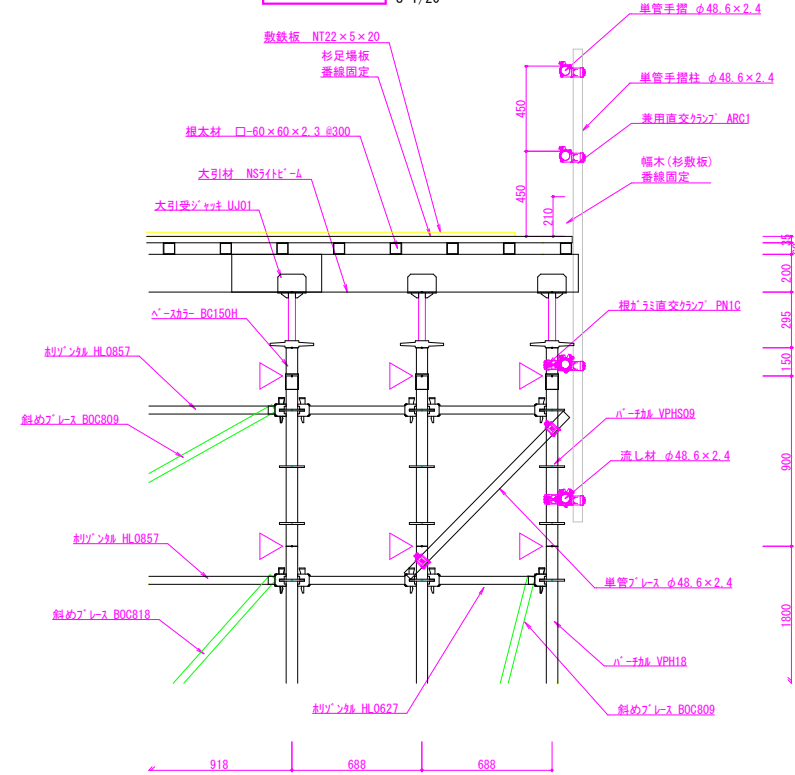
A-A断面図

S=1/100



A部詳細図

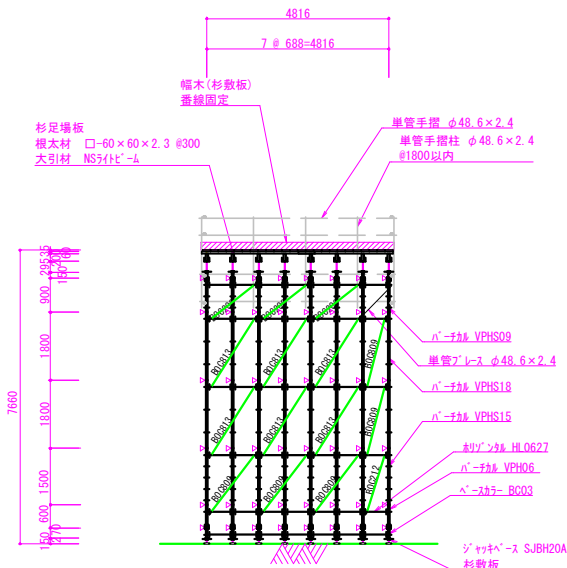
S=1/20



路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事（2工区）			
図名	足場工詳細図(1) (参考図)		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	図示	単位	M・mm
図号	全 22 葉中の内 21		
令和 8 年度施行			鳥取市

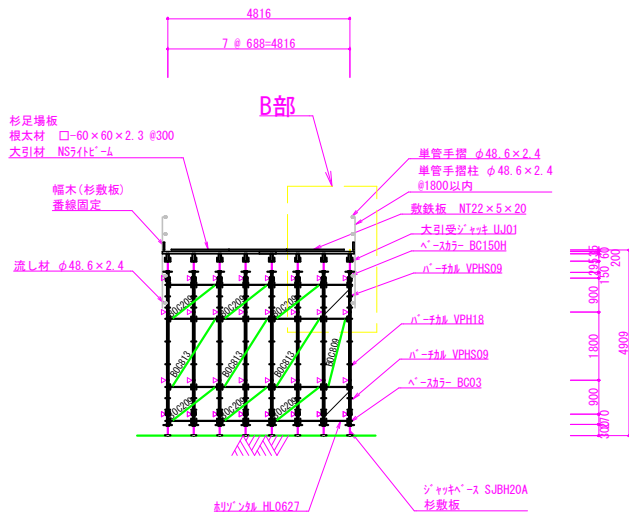
B-B断面図

S=1/100



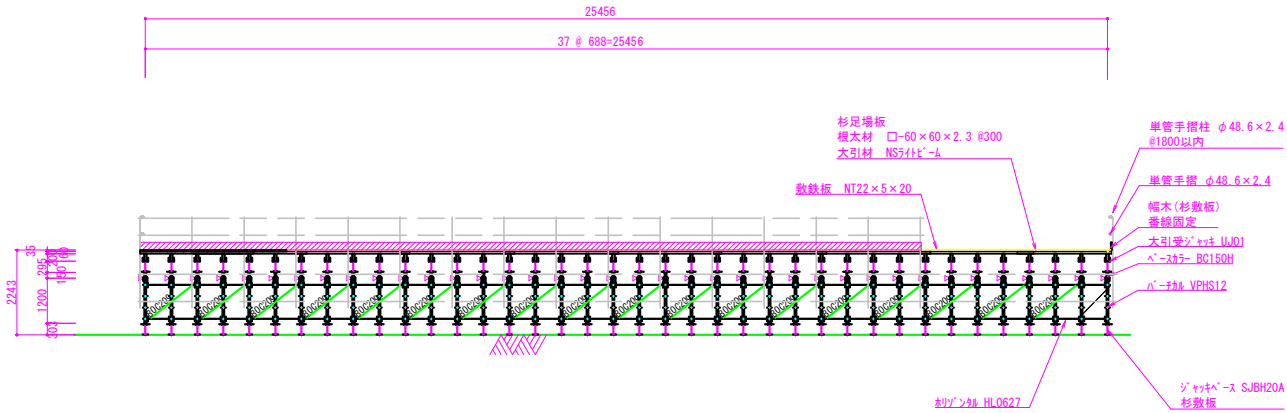
C-C断面図

S=1/100



D-D断面図

S=1/100



足場工 (参考数量)

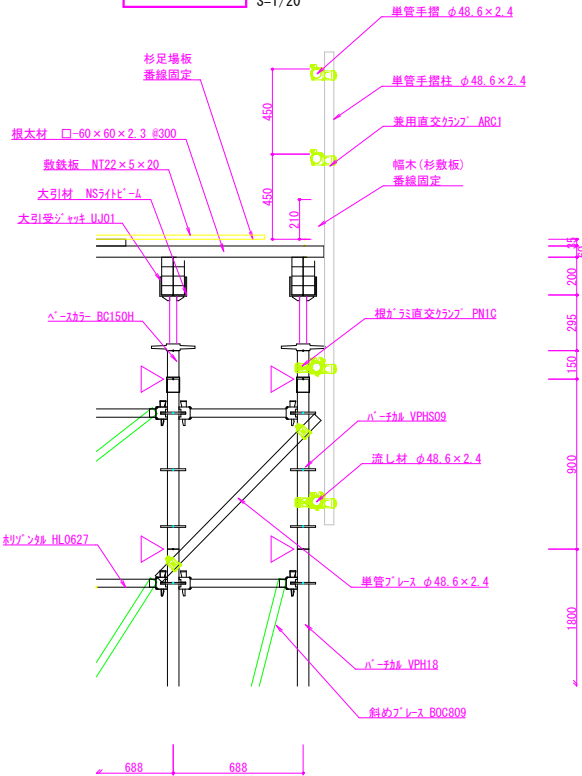
※杭No. 1～No. 13は杭No. 14～No. 26の足場を転用するものとする。

(単位: 個・本・基)

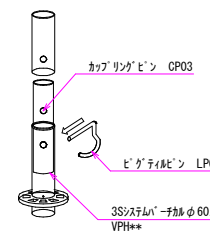
		杭No. 1～No. 13	杭No. 14～No. 26	引き込み足場
単管パイプ	4.0m	7	15	10
単管パイプ	3.0m	2	3	2
単管パイプ	2.5m	88	181	109
単管パイプ	2.0m	0	1	1
単管パイプ	1.5m	3	5	3
単管パイプ	1.0m	1	2	2
角パイプ	60K4.0m	43	88	52
角パイプ	60K3.0m	14	28	16
角パイプ	60K2.5m	13	26	16
角パイプ	60K2.0m	4	9	6
角パイプ	60K1.5m	2	4	3
兼用直交クランプ	ARC1	27	55	33
直線ジョイント	PCJ	7	15	10
固定ベース	PKB	31	64	39
上柱直交クランプ	MS11C	32	66	39
上柱自在クランプ	MS12C	150	306	183
バーチカル	VPHS06	69	141	85
バーチカル	VPHS09	55	114	68
バーチカル	VPHS12	20	42	25
バーチカル	VPHS15	7	15	9
バーチカル	VPHS18	33	67	40
水平リソナル	HL311	32	66	39
水平リソナル	HL627	390	798	479
水平リソナル	HL857	238	487	292
斜めブレース	BOC209	47	97	58
斜めブレース	BOC809	30	62	38
斜めブレース	BOC813	44	91	54
斜めブレース	BOC815	0	0	1
斜めブレース	BOC818	11	23	15
キャップ	SJC01	238	488	292
ジャッキベース	SJBH20A	104	212	127
カップリングピン	CP03	61	125	75
ビグティルピン	LP03	122	250	149
ベースカラー	BC03	39	79	47
大引受ジャッキ	UJ01	135	276	165
大引材	NSL4000	7	15	9
大引材	NSL3670	14	28	16
大引材	NSL3050	0	0	1
大引材	NSL2445	14	29	17
大引材	NSL1835	2	3	2
大引材	NSL1530	0	1	1
大引材	NSL1225	1	2	1
大引材	NSL0906	2	3	2
アングルバレット	PA01	8	16	10
敷鉄板	22*1524*3048	15	31	18
杉板	S3540	78	160	95
杉板	S3520	54	110	66
杉板敷板	S3540B	28	57	34
杉板敷板	S3520B	12	24	14

B部詳細図

S=1/20

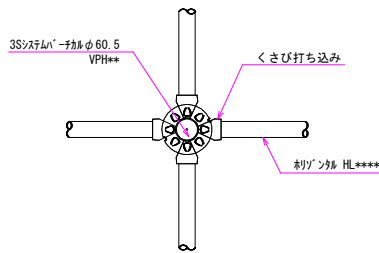


3S建地 ジョイント部 詳細図



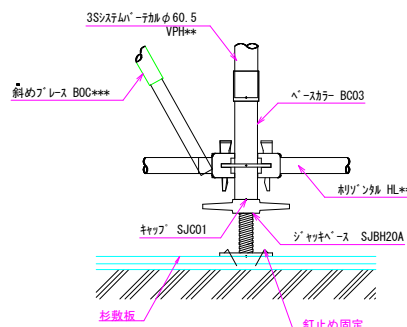
3Sシステム平面詳細図

S=1/100



3 S システム脚部詳細図

S=1/10



バーチカル芯寸法表

品番	識別色	L寸法	I寸法	I寸法
HL-0207	無色	207	256	268
HL-0311	水色	311	360	372
HL-0377	緑	377	426	438
HL-0490	赤	490	539	551
HL-0627	青	627	676	688
HL-0857	赤	857	906	918
HL-1176	無色	1176	1225	1237
HL-1481	青	1481	1530	1542
HL-1786	緑	1786	1835	1847

3 S システム専用ブレース取付け表

高さ	551	688	918	1237	1542	1847
600	単管	単管	単管	単管	BOC1209	BOC1215
900	単管	単管	単管	BOC1209	BOC1212	BOC1216
1200	単管	単管	BOC1209	BOC1212	BOC1215	BOC1812
1500	BOC1212	BOC1212	BOC1215	BOC1216	BOC1812	BOC1815
1800	BOC1216	BOC1216	BOC1809	BOC1812	BOC1815	BOC1818

路線名	市道早牛勝部線		
令和8年災第2号 市道早牛勝部線道路災害復旧工事 (2工区)			
図名	足場工詳細図 (2) (参考図)		
位置	鳥取市青谷町八葉寺地内		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 22	葉中の内	22
令和 8 年度施行	鳥取市		